

EPA THE EIKO ALUMNI 90

2018年10月1日発行 ©2018 発行人:栄光学園同窓会・山田宏幸 編集人:高橋英治 印刷所:ナガシマ印刷工房
発行元:栄光学園同窓会 〒247-0071 鎌倉市玉縄4-1-1 ☎0467-44-8875 <http://www.eikoalumni.org>

2018年度同窓会定期総会

2018年5月12日に同窓会定期総会が栄光学園アロイジオ会館会議室にて実施されました。

本年度の定期総会においては通常の議題に加え、特別委員会「繋がるプラットフォームP/T」が進める同窓会ホームページリニューアルの紹介も行い、長時間にわたる議事が行われました。



望月校長と山田同窓会長

定期総会には1期から66期の常任委員、各期委員、支部委員ら63名が参加しました。

同窓会ホームページリニューアル

定期総会でご案内した同窓会ホームページは6月1日よりリニューアル版に切り替えて公開しております。同窓会ホームページのURLは以前のもので、<http://eikoalumni.org>です。どうぞご覧ください。

ホームページのコンテンツは、半月ごとに新たな記事を掲載して更新しております。同期会や支部会のイベント告知及びご報告もこの頻度でお知らせしていくことが可能ですので、同窓会事務局までご連絡ください。

また、これまでのホームページ記事は同窓会報The Eiko Alumniと重複しておりましたが、今後はそれら記事以外にも独自のテーマで記事を作成すべく、ホームページ運営委員会を設けて活動を開始しました。今後の同窓会ホームページの更新をお楽しみにお待ちしております。



栄光学園同窓会2018年度定期総会の様子

2018年度OBフォーラム

本年度OBフォーラムを同窓会事業部が企画しております。

速報版の案内を本号郵送時に同封しておりますが、さらに詳細が決まり次第、上記の同窓会ホームページ等でお知らせしてまいります。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

主な目次 No.90

学園からのメッセージ	2	同期会	24
同窓会会長ご挨拶	2	支部活動	29
同窓会活動	3	歴史文学散歩	33
特別委員会報告	3	訃報・お知らせ	36
母校の様子	20		

学園からのメッセージ

ご挨拶

栄光学園中学高等学校副校長 林 直人

同窓会の皆様には、日頃より学園の教育活動にご理解・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また今回、山田会長よりこの同窓会誌でご挨拶させていただく機会をいただき、重ねて感謝申し上げます。

副校長を拝命して3年が経過いたしました。その際同時に70周年記念事業の事業委員会責任者となり、新校舎完成まで力を尽くしました。

その中で直接関わっていただいた多くの卒業生の方々には、改めて感謝申し上げたいと思います。皆様が本来の職務の枠を超えて、母校のために働いていただいたと感じています。また、本年3月に終了いたしました70周年記念事業の募金にも、大変多くの卒業生の方々にご協力いただき、本当に感謝いたしております。目標金額の5億円は非常に高い設定であったにも関わらず、その目標額の9割にも及ぶご寄付をいただき、改めて皆様の母校を支えてくださるお気持ちの大きさに驚き、感銘いたしました。

新校舎に移り1年半が経過しました。その間、他校の先生や建築関係者など多くの方々が見学にいらっしやり、お褒めの言葉をいただきました。またGood Design賞を始め、複数の賞も受賞しました。

しかし、そのような外部の方々の評価よりも、ここで暮らす生徒諸君がこの校舎を気に入って、非常に居心地よく感じていることが我々にとって一番の喜びです。2階建で外に出やすい校舎になって、栄光の伝統？でもある休み時間の外遊びも、今まで以上に盛んに行われているように感じます。

実は今年になって、課外活動において生徒諸君の様々な活躍が目立っています。「これも新校舎効果である！」と結びつけるには少々無理がある気もいたしますが、ご報告として列挙させていただきます。

3月：科学の甲子園全国優勝(初優勝)

4月：サッカー一部中学春季鎌倉市内大会優勝(10年ぶり)

4月：バスケット部中学春季鎌倉市内大会優勝(10年ぶり)

5月：野球部高校春季関東大会優勝(13年ぶり)

8月：野球部高校南関東大会進出(15年ぶり)準優勝

8月：囲碁将棋部中学将棋団体戦全国大会4位

8月：国際地学オリンピック金賞受賞(世界3位)

8月：生物オリンピック国内大会金賞・銅賞受賞(日本代表候補)

8月：物理オリンピック国内大会銀賞受賞(日本代表候補)

8月：化学オリンピック国内大会金賞受賞(日本代表候補)

ただ、新校舎になってもこの学校のミッションが変わるはずはありません。引き続き社会に貢献できる逞しい栄光生を育てていく所存です。

今後とも同窓会の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

同窓会長ご挨拶

栄光学園同窓会会長 山田宏幸(30期)

日ごろより、同窓会事業にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本年5月12日(土)に、2018年度の定期総会が開催されました。総会では、3月に卒業した66期生173名から選出された新66期委員がとてフレッシュな挨拶をしてくれたところですが、同窓会員総数はすでに1万1千人を優に超えています。この3世代に亘る同窓会員を繋ぐための情報発信ツールとして、同窓会ホームページを全面リニューアルし、6月から運用を開始しました。まだ、ご覧いただけていない方は、是非ともウェブ検索で「栄光学園同窓会」と入力していただければと思います。

ホームページリニューアルは、学園創立70周年事業に係るイベントが一段落した昨年後半から本格的に取り組み、本年5月の定期総会で出席者の皆さまにお披露目をしました。その後、総会出席委員の皆さまにテスト版をご覧いただき、6月からの本格運用をスタートしました。スタート直後は、更新がスムーズに行えず、若干情報提供が遅れることなどもありましたが、現在では滞りなく運用されています。

このホームページを充実させるため、新たにホームページ運営委員会を設置しました。ホームページで最も大切なのは内容と情報の更新です。会員のニーズに合致したコンテンツの掲載とタイムリーなデータ更新を実現するため、広報部と28期から40期までの複数の新メンバーが、ホームページ更新等を受託するイメージサイエンス社と協力してホームページを運営していきます。さらに、記事のアイデアなどを検討し、取材なども行っていく予定です。会員の皆さまの、情報提供や運営・取材へのご協力をお願いいたします。また、ホームページ運営委員会をさらに増強するため、「我こそは」と思われる方は、同窓会事務局までご連絡ください。

一方、コンテンツという意味では、学園アーカイブの整理も重要課題です。アーカイブの整理のための委員会を立ち上げ、委員を募ることを考えています。学園アーカイブは学園の資産ですので、学園及び学園のOB教員と協力、調整して整理を進めていく必要がありますが、長年の懸案事項

であり、着手が遅れるほど未整理資料が増えていくので、一定のスピード感を持って取組みを始めるべきです。特に、田浦時代の資料については、物理的劣化を防止するとともに、OBの記憶と紐付けることが急務です。会員の皆さん、田浦世代の先輩方に、是非ご協力いただければと思います。

さて、2018年度の最重要課題は、定期総会の事業計画でもお示した会員名簿とEACONについてです。昨年度と同様、特別委員会を設置し、同窓会の本丸とも言うべき名簿情報について集中的に検討、討議し、今後のあるべき姿、データを充実させる方策、会員間のデータ共有、会としてのデータベース活用などを模索し始めました。特別委員会は、執行部、幹事に29期から51期までの有志メンバーを加え、月1回程度開催していきます。難易度が高く奥の深い課題ですが、まずは来年5月の総会までに、一定の方向、結論付けをしたいと思っています。今年度の常任委員会、また2019年度の定期総会でご報告し、必要なものはお諮りしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

母校創立からすでに70年を越え、数年後には同窓会が70周年を迎えることとなります。過去を大切に、栄光のDNAを継承しつつ、より広い視野で“Men for Others, with Others”を実践できるよう、学園、姉妹校同窓会とも協力しながら、躍動感あふれる同窓会にしていければと思います。“人を繋ぐ、人が繋がる同窓会”を実現させるため、同窓会会員の皆さまには、より一層積極的に同窓会活動にご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

同窓会活動

追悼ミサ報告

大島弘尚（14期）

今年も学園祭初日、5月12日9時30分より学園聖堂にて、この1年間に亡くなられた3人の先生方と1期から30期までの32人の卒業生の追悼ミサが行なわれました。

司式は27期伊藤 淳神父（東京教区）と濱田壮久神父（45期）で、22人の御遺族と数十名の同窓生参列のもと、故人らを追悼いたしました。

ミサ中の共同祈願の先唱をなさった栄光学園校長望月伸一郎先生、退職教員石川吉紀先生（8期）、同窓会副会長関根修一氏（20期）が参列者を代表し、亡くなられた先生方、卒業生の安らかな帰天を祈願してくださいました。

追悼ミサ後、学園内のアロイジオ会館にて、故人を偲ぶ茶話会も開かれました。

同窓会長山田宏幸氏（30期）の挨拶の後、参加された御遺族とその同期生から故人と学園との関わり、卒業後の同

期生との深いつながりが語られ、心に残る会となりました。

現在の卒業生の活躍、栄光学園の活動は、帰天なされた先生方と卒業生、そのご家族によって支えられてきたと実感いたしました。



27期伊藤神父と45期濱田神父による司式



追悼ミサの様子

特別委員会報告

特別委員会：「会員名簿とEACON」についてのご報告

総務部長 青木嘉光（10期）

今年度の第一回常任委員会（8月4日開催）で、特別委員会「同窓会名簿とEACON」の設置について、御承認頂いた。ALUMNI本号の誌面をお借りし、この特別委員会の設置目的、議論する主要課題、委員会メンバーと予定等について、ご報告させていただきます。

【1】特別委員会「会員名簿とEACON」設置の目的について

期別	登録者数	期別	登録者数	期別	登録者数	期別	登録者数
1	2	18	39	35	5	52	4
2	7	19	2	36	4	53	21
3	1	20	13	37	7	54	4
4	4	21	11	38	7	55	7
5	16	22	12	39	10	56	2
6	21	23	5	40	6	57	39
7	43	24	36	41	32	58	12
8	17	25	6	42	9	59	42
9	49	26	70	43	11	60	19
10	38	27	50	44	11	61	19
11	15	28	66	45	20	62	71
12	56	29	24	46	8	63	58
13	3	30	52	47	35	64	12
14	20	31	52	48	2	65	17
15	35	32	31	49	5	66	31
16	17	33	35	50	7		
17	37	34	10	51	25		
						合計	1,457

期別 EACON登録(初期パスワードからの変更登録)者数

「同窓会名簿」は、同窓会活動の根幹をなすものとして切っても切れないもの。ただ、一方では、2005年の個人情報保護法の全面施行(2017年改正個人情報保護法)により、全ての事業者個人データの管理、個人情報の取扱や保護が厳しく求められるようになった。従来の「印刷型名簿」では対応には限界があり、「WEB版名簿」の活用を促進している。

しかしながら、2014年5月に開設した「会員専用ページ」EACON(Eiko Alumni Communication Network)は、4年後の2018年5月現在でも、登録した会員は、1,400人強(期別詳細上表)と期待通りの効果が出ているとは言い難い状態。

昨年度のホームページ・リニューアルに合わせて、EACONは名簿管理の機能を主体に運営していく方針を明確にした。引き続き今年度この特別委員会で、会員の皆様にEACONを更に浸透させ、どのようにして「WEB版名簿」を定着させるか、その方策をいろいろと検討、議論していくことを目的としている。

【2】「特別委員会」で予定している主要な論点について

この目的達成のため、特別委員会では、①「EACON画面の会員名簿」(WEB版名簿)の内容(公開・非公開の基準)についてと、②「EACON」登録会員の増加策と個人情報の鮮度維持策についてという二つのテーマを中心に議論していく予定。

第一のテーマ:「EACON画面の会員名簿」(WEB版名簿)の内容について

個人情報保護法への対応の為、情報管理が可能として導入された「EACONの会員名簿」の掲載内容・項目が、従

来の「印刷型名簿」の記載情報より、限定された設定となっているのが何故なのか？

「EACONの会員名簿」の掲載内容・項目の「公開」「非公開」の設定基準について、再検討の余地はないのだろうか？現状の設定は同窓会会長名で全会員に通知されている「同窓会の会員情報管理の運用について」と言う指針とも矛盾している。

現在の画面を開いて見ると「非公開」ばかりが目につく。全てが全て、会員が自己の意思で「非公開」にしているとは到底思えない状況ではある。会員の利用を促進するためにも、この点の見直しの議論は必須であろう。

①「印刷型名簿」と「EACON画面の会員名簿」

個人情報保護法への配慮があり、変更したというが、従来の「印刷型名簿」の記載情報と、EACON画面の掲載情報を比べてみる。

「印刷型名簿」の記載情報

第10期生(1962年3月卒業)				
会員番号	氏名	郵便番号	現住所	勤務先 電話番号
10004	○X●●	249-0003	△△市●3-x-2●	04x-8xx-9●03 ●△X X株式会社
10006	●○X●	216-0005	○○市●●●3-x-●7 04●-8x6-1●5x	XX●社

「EACON会員名簿画面」の掲載情報

姓	名	期別	部活動	大学名	勤務先名	住所1 (県、市 町村)	住所2 (丁目、 番地)	電話 番号	物故者
---	---	----	-----	-----	------	--------------------	--------------------	----------	-----

この他に、基本項目として、会員番号、メールアドレス、FAX番号、名簿不要、会報不要、緊急連絡先。職歴として勤務先住所、電話番号、肩書・業種、職業分類等。学歴として学部名、卒業年次、活動その他として所属支部等も登録可能になっている。

「EACON会員名簿画面」の掲載情報の公開、非公開の現在の設定は次ページ表の通り。

	公開レベル(初期設定) *は必須項目	自分からの見え方	全体からの見え方	友達からの見え方	グループからの見え方
基本項目	会員番号*	見える	公開	公開	公開
	姓名*	見える	公開	公開	公開
	メールアドレス1, 2	見える	非公開	公開	公開
	郵便番号*	見える	非公開	公開	公開
	住所(1)(県、市町村)*	見える	公開	公開	公開
	住所(2)(丁目、番地)*	見える	非公開	非公開	非公開
	電話番号*	見える	非公開	非公開	非公開
	FAX番号	見える	非公開	非公開	非公開
	名簿不要	見える	非公開	非公開	非公開
	会報不要	見える	非公開	非公開	非公開
	逝去日	見える	公開	公開	公開
	卒業期別	見える	公開	公開	公開
	緊急連絡先	見える	非公開	非公開	非公開
職歴	勤務先名	見える	公開	公開	公開
	勤務先住所	見える	非公開	公開	公開
	勤務先電話番号	見える	非公開	公開	公開
	肩書・業種・職種等	見える	非公開	公開	公開
	職業分類	見える	公開	公開	公開
学歴	大学名	見える	公開	公開	公開
	学部名	見える	公開	公開	公開
	卒業年次	見える	非公開	公開	公開
活動その他	部活動	見える	公開	公開	公開
	企業・業種支部	見える	公開	公開	公開
	部活・地域支部	見える	公開	公開	公開
	その他支部	見える	公開	公開	公開
	同窓会活動	見える	公開	公開	公開

検討する。未だ会員の登録が増えてこない理由の一つに、現状ではパスワードがわからない、取得しづらいために、アクセスをあきらめるケースが多く想定される。今後、パスワードの渡し方について、現状通り、通知ハガキ、事務局問い合わせの他、自動付与、FACEBOOK認証、GOOGLE認証等の新たな方策を議論していく。

次に、個人情報の登録と情報の鮮度維持施策に関しては、世の中全般的にこのような個人情報のメンテナンス

②「同窓会の会員情報管理の運用について」― 会長メモ(抜粋)

1. 同窓会が維持管理している会員情報

(1) 同窓会は次の会員情報を維持管理しています。「会費納入状況など」以外の情報は、個人情報保護基本規程に従い会員や学園関係者からの正当な問い合わせに対して公開されることがあります。

会員番号(卒業年度)、氏名(および旧姓)、現住所とその電話番号(*)、勤務先(および部署名)とその電話番号、在学中の学校・学部、最終学歴(出身大学など)、母校在学時の部活動歴(所属クラブ名)、会費納入状況など

(2) このうち、次の情報は個人情報保護基本規程に基づく特段の事情のない限り非公開とすることはできません。

会員番号(卒業年度)、氏名(および旧姓)

(3) 次の情報は、非公開とすることを極力思いとどまっていたきたいと考えております。会員が集会等の案内をしようとしても全く連絡がつかなくなってしまうことになるからです。現住所とその電話番号(*)、寮やアパートなどに一時的に滞在している場合の第2(例:親元)の住所・電話番号、海外在住者の国内における連絡先(住所・電話番号)(*) (※)ファクシミリも同番かどうかを含む

第二のテーマ:「EACON」登録会員の増加と個人情報の鮮度維持策について

EACONへの新規ログインの利便性向上策について再

スは苦勞しているのだと思われる。少なくとも紙メディアよりも新鮮な情報を提供できないと、価値を認められなくなる懸念がある。

① EACON登録会員の増加策としては、同期会開催時の補助金と言うインセンティブ賦与を行ってきた。今年度も継続している。

② 変更情報の登録促進による情報の鮮度維持施策に関しては、これから検討が必要。

・事務局ハガキによる更新は従来どおり継続

・定期的に情報を取得できるキャンペーン等の実施の検討

キャンペーン補助金実績		2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
EACON奨励	期別:	26期		26期	7期
	金額:	35		68	40
	期別:	32期		27期	10期
	金額:	61		28	48
	期別:			28期	12期
	金額:			36	76
	期別:			30期	17期
	金額:			40	53
	期別:				31期
	金額:				58
期別:				33期	
金額:				108	

③ その他、どういう対策が打てるかを考える。

・ホームページの活用

トップページに、EACONへの登録の呼び掛け、パスワード、IDの入手方法、登録情報の変更時の連絡などのメッセージを常時掲載しておく

・ALUMNIの活用

発送時にチラシを同封し、「公開」「非公開」の設定基準の変更などの周知徹底

・アーカイブの活用

注意喚起のキャンペーンの素材として活用できないかなど。

【3】特別委員会の予定メンバー

会長、副会長、事務局長、本部5部の部長及び大須賀幹事
 中路喜之(29期常任委員)、森厚(31期委員)、内藤文樹(32期常任委員)、河原光博(37期常任委員)、村井元彦(37期委員)、米村俊彦(43期常任委員)、石田明久(51期常任委員) *敬称略 (取り纏めは総務部長)

【4】特別委員会開催予定

最多で8回を予定。①8月4日(土)、②9月8日(土)、③10月20日(土)、④11月10日(土) ⑤12月8日(土)、⑥1月19日(土)、⑦2月16日(土)、⑧3月9日(土)。各回、13:00から、1時間から1時間半を予定。

なお、特別委員会の議事記録等は出来るだけリニューアル後のホームページでも公開したいと考えています(委員会欄にパスワード付きで)。会員名簿は会員皆様の関心事でありますので、皆さまも「WEB版名簿」に関するご意見を事務局などへお寄せいただくと有難く存じます。よろしくお願い致します。

《ご参考》

「栄光学園同窓会会員名簿」に関する最近の経緯

(1)「栄光学園同窓会会員名簿」の印刷発行の履歴

従来、ほぼ隔年で発行していた「印刷型名簿」は平成26

年度を最後に発行していない。

発行年度と印刷費(千円)

2005年度	2007年度	2009年度	2012年度	2014年度
5,688	5,099	5,415	6,917	4,658

EACONの運営費(年間) 578千円

(2)平成28年度の「同窓会名簿検討特別委員会」の経緯

平成28年8月20日の常任委員会において、「同窓会名簿検討」作業遂行のため、「同窓会名簿検討特別委員会」の設置が承認された。

メンバーは、本部5部の部長と幹事(33期、43期)、他に会長、副会長。事務局長は随時出席、取り纏めは総務部長。平成29年4月15日まで、全8回の会合が行われた。その結果、プロバイダー・イーストゲート社とEACON画面修正交渉、現在の画面のように、会員名簿画面を一覧性を持たせ、検索画面を使いやすく改良することが出来た。

栄光学園アーカイブの実情報告とご協力をお願い 学園資料室がどこにあるかご存知ですか？

総務部(アーカイブ委員会準備)青木嘉光(10期)

母校栄光学園は昨年、創立70周年を迎えました。この70年間、グスタフ・フォス初代校長から現在に至る歴史を記録した多くの貴重な資料が学園資料室に残されています。その一部をここに記載してみましたが、その他に千数百点ほどの重要な資料が保管されています。

資料名	内容	資料作成者名称	原資料作成年月日	原資料形態(文書・写真等)	備考
男子中学校設立審議承認	審議記録最終ページ、理事3名署名	財団法人上智学院理事	1946年	1枚物	上智大学便箋
設立事情大略説明	1946年8月の決議から1964年の大船移転までの経緯、年表風に	谷口先生		1枚物	裏にメモあり、「参考: 谷口先生メモ⇒原本は？」
栄光中学校設置認可申請書	文部大臣宛。名称「栄光中学校」。写真右が該当			写真(被写体が資料)	
校長認可申請	グスタフ・フォスを校長に申請 理事 土橋八千太が文部大臣に	上智学院	1947年2月3日	1枚物	上智大学便箋
神奈川県知事宛進達願	栄光中学校設置認可申請	上智学院	1947年2月3日	1枚物	
教育制度変更時の学園案内	本校の外的機構、本校の教育精神、本校の経営、概観より成る				いつ作成され、どのように使われたかは不明
高松宮・宮妃の来校	写真			写真	

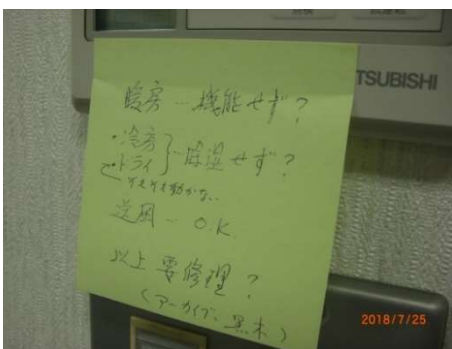
保管されている資料一覧の一部(続きは別ページ)

ところで、皆さまは学園資料室がどこにあるのかご存知ですか？こんな貴重な資料が埋もれたままで良いと思われませんか？

学園にとって、これら資料の散逸、劣化をさける日常作業はかなりの負担となっているとのことで、同窓会への協力依頼が届いています。学園の資産とはいうものの、同窓生の大切な記憶の財産でもあり、同窓会として出来るだけの協力はしたいと考えます。今後、アーカイブ委員会(仮称)を立上げ、学園の貴重な資料を保管し活用するため、同窓会員の皆さまにもご協力をお願いすることになると思いますので、以下に、もう少し詳しく学園資料室の現状についてご報告させていただきます。

言うまでもなく、学園資料室は学園の所掌の一つです。学園創立70周年事業の一つとして、旧校舎の資料室に代わり、新校舎内に資料室を整備する話も出ていましたが、残念ながら実現には至りませんでした。

その間、旧校舎にあった学園資料室は、新校舎の工事に伴い、修道院の図書館へ引っ越しましたが、ここは新校舎建築時に施工者の大成建設が工事スタッフの部屋として使用することとなり、御聖堂の前の明るいスペースや聖研究室下のボイラー室の下にある部屋などへの移転を検討したものの、いずれも難点がありました。これらを経て、現在、学園資料室はアロイジオ会館の第2、第3会議室に移っています。



現在の会議室のエアコンは機能していない



資料は棚の箱に整理され、データはハードディスクに保存されている

はこれが精一杯の管理、整理でもあります。以前は飯野先生(19期)が中心になり、他に碓井先生(4期)、梅津先生(4

期)、金子省二先生も作業を手伝って来ていましたが、学園でも段々と昔を知る人達が少なくなってきたので、古い資料のさらなる整理や管理、また利活用を考えるには、同窓会の協力が必要になっているとのことです。



資料の劣化を防ぐため、小さな除湿器で対応、懸命の努力

学園資料室の当面の目標は、アー

カイブのしっかりとした保管・管理です。学園創立70周年事業では、常設での展示室を作ることまで検討したこともありましたが、70周年事業が終わってしまった今となっては、今後の展望は開けておらず、厳しい状況です。その一方、同期会、支部等からは、アーカイブの貸し出し要望もあります。資料を勝手に持ち出すことは絶対あつてはなりません、実質的に管理者が不在で、資料の整理も不十分な状態であるため、ご要望にお応えすることが出来ません。また、この管理者を教員がやろうとしても、通常業務が多忙であり、学園に人的余力も無く、極めて困難、おそらく無理であろうと推察します。これらを踏まえ、諸々同窓会の協力が必要であると思われます。

一覧表でもお示した通り、大変貴重な保存記録が数多く残っています。これら貴重な資料、記録をキチンと保存し、活用し、そして未来へ伝達していくことは、極めて重要なことです。資料が劣化しないうちに、また古い時代を知る先輩方がご健在であるうちに、学園と協力して、早急に整備に取り掛かる必要があります。このことは、望月校長先生を始め、学園も十分に理解し、同意してくださっているところであり、まずは、資料保存環境、作業環境整備のため、エアコンの修繕もしくは設置を学園に相談したところ、基本的には学園で対応するとの前向きなお話をいただいています。同窓会としては、10月頃にはアーカイブ委員会(仮称)を発足させ、将来的には、常設の展示室設置までを視野に入れ、作業を開始したいと考えていますので、同窓会会員の皆さまのご協力を是非お願いいたします。

このような栄光学園アーカイブの現状に関し、ご意見やお考えがある方。また今後、アーカイブ委員会(仮称)の保存、整理作業等への参加にご興味がある方は、是非とも同窓会事務局 admin@eikoalumni.org、tel.0467-44-8875 までご連絡ください。何卒よろしくお願ひいたします。

《以下に資料一覧の続き》

資料名	内容	資料作成者名称	原資料作成年月日	原資料形態(文書・写真等)	備考
校章及びその由来等について	神奈川県総務部宛提出書類の下書き			文書	
挨拶状 学校法人栄光学園の設立	上智学院より独立 昭和32年2月		1957年		
シュトルテ先生講演①～③	イエズス会教育の理念と実践、日本での60年を振り返って『合格レーダー』掲載		1995年～1996年	雑誌コピー	
週刊新潮「墓碑銘 進学校『栄光学園』のグスタフ・フォス初代校長」	週刊新潮内G・フォス師に関する記事		1990年3月29日	雑誌切抜	
『わが子とともに』		ハンス・ヘルベルク	1965年	書籍	
グスタフ・フォス先生学園葬'90.3.31	フォス先生葬儀写真		1990年3月31日	写真アルバム(箱1)	
Portrait フォス校長藍綬褒章賞状等	フォス先生表彰状			写真、賞状、著述講演等目録(箱2)	フォス旧蔵品、学園資料室
丹沢名木物語 天狗の丹沢夜話(H・シュトルテ)	丹沢だよりスクラップブック			スクラップブック(箱5)	
1997 栄光ヒュッテ夏のキャンプ	旅のしおり			小冊子	
シュトルテ先生 還暦祝 1973年(昭48)10月 於山小屋			1973年1月	写真台紙貼り(封筒入)	
A「ウルフ先生遺品文書(証書証●)(2013整理)等ファイル」					
歴代校長他 ポートレイト木製パネル 11枚					
S50年6月5日号 週刊新潮1000号記念 特別読切「日本の教育に直言する」栄光学園校長 グスタフ・フォス			1975年6月	コピー	
『日本の父へ』	フォス師著作	G・フォス	1980年9月15日	書籍	
栄光学園高校校舎入口看板	栄光学園高校校舎入口看板			木製看板	
栄光学園の歴史	新任オリエンテーション資料フォス師の言葉より		1995年5月1日		
フォス校長とイエズス会本部管区との往復書簡等	1946～1982年間のフォス校長とイエズス会本部管区と往復書簡		1982年	ファイル	
當眞先生遺稿集刊行に関する経過記録等	當眞嗣康先生遺稿集				2冊のうち、1冊を本棚②に別置
創立25周年式典資料	式次第、イエズス会総長P.アルーペ師より、創立25周年を祝う				
創立40周年式典資料	ミサ式次第、式次第、式典写真、新聞記事(神奈川新聞)				
創立50周年関係資料	絵葉書、写真(壇上斉唱)、全私学新聞紹介記事、洋画家深澤氏寄稿				
聖堂ステンドグラス 十字架の道行き図(原画)	聖堂ステンドグラスデザイン案 関係資料(参考文献)		1996年		
栄光学園海の家看板	木製看板			木製	
栄光山小屋	栄光ヒュッテ竣工			写真アルバム(箱2)	

資料名	内容	資料作成者名称	原資料作成年月日	原資料形態(文書・写真等)	備考
臨海教室完成 1981				写真アルバム(箱4)	
創立10周年記念事業④	「海の家」建設案内				
学園施設丹沢「栄光ヒュッテ」	朝日新聞コピー「丹沢物語第3部心通う山小屋教育」		1973年6月10日		
学園施設諸磯「臨海教室」⑧	海の家新築工事各部屋所要面積概算表平面図		1979年11月20日		
成績評価の一本化	通知表サンプル、学籍簿サンプル(中学・高校)、成績一覧表(組主任用)サンプル				
英語弁論大会	各種英語弁論大会成績一覧(1952～1985)2種類表示、1982年度英語弁論大会参加状況(31～34期)				
Let's Sing Together	初～昭和58年版				
中学校倫理教科書	学園で作成した中学1～3年生用倫理教科書	栄光学園教育協議会	1968年～1969年	冊子	
高校倫理教科書	学園で作成した高校1～3年生用倫理教科書	栄光学園教育協議会	1968年～1970年	冊子	
初期英語教科書 Our Reader	学園で作成した英語教科書 3期生津田良一氏より寄贈	栄光学園			
学園で作成した英語教科書	The English Hour	栄光学園		冊子	
創定期理科(生物)独自教科書	高校生物教科書(高校生の生物学、発生・遺伝・進化) 中学科学教科書(新しい科学)	浅野明	1957年～1959年	冊子	
中学・高校進級に関する規定	中学校及落に関する規定(S.28.8.1改訂、S.45.6.3一部改定)、中学校及落に関する規定(S.28.8.1改訂、S.45.6.4一部改定)の現行に基づいた解釈(読み替え)、栄光学園中学校の進級に関する規定(改訂版)、栄光学園高等学校の進級に関する規定(改訂版)、高等学校及落に関する内規(S.30.11.15改正)、中学3年より高校進学に関する規定案				
オナスカード	中学4・高校4				
学園生活DVD,CD	①第48回全国高校軟式野球選手権大会 栄光学園対鹿児島実業2003年8月26日明石公園球場②Eiko Philharmonic Orchestra Concert 2006	①撮影・編修/図書館藤本美津子 編修協力/高田 暁先生	2005年2月22日	DVD-R,CD	
二期生写真集(その一) シュトルテ先生旧蔵	二期生生活記録写真(夏祭り)			写真アルバム(箱3)	学園資料室
五期写真集				アルバム	
10期中1写真(名前つき)				写真	封筒入り
28期中1写真				写真	封筒入り
夏祭り	写真 1949/7/19			写真	
生徒手帳					
瓦礫の中から-栄光の三十年-			1977年6月	写真アルバム	
1977.4.28 ハレルヤコンサートコーラス写真				写真	
栄光フィルコンサートプログラム	1981,'89～99,'01,'03,'06間の栄光フィル各種コンサートのプログラム				

資料名	内容	資料作成者名称	原資料作成年月日	原資料形態(文書・写真等)	備考
制服制帽に関する規定、昭和28年10月1日	16項目あり		1953年	文書	
栄光学園中学校高等学校制服型(規格寸法)	昭和28年4月決定、10月1日より一斉着用		1953年	文書	
服装について			1952年11月5日	文書	
夏期の帽子廃止に関する生徒の意見まとめ	付箋にwhenとあり			文書	
生徒指導関係書類	使徒指導のあり方について、構内着、届けに関する注意、生徒心得、部活動に関する規則、教室当番、届けについて、栄光生の誇り、生徒の学園生活について			文書	
学園紛争 18期生等の問題提起	公開質問状(ビラ)		1969年10月		
高校紛争紛争に先立つ教員側の動き(1967~68)生徒指導に関する研修会資料「生徒指導の問題点」	①生活指導の問題点(1967.10.27)研修記録、②生活指導研修分科会「生活指導体制の確立」グループの総括、③第二分科会「部活動」、④生活指導-問題処理についてアンケート結果報告、⑤アンケートで指摘された問題点等、⑥「栄光生の部活動」調査アンケート、⑦ホームルームに関する検討資料		①1967年10月27日、②1968年 or 1970年、③1968年5月10日、④1967年11月16日、⑤1967年10月26日、⑥1967年5月29日、⑦1967年4月16日~1968年	⑦冊子その他	
国際反戦デー対策計画(1969.10.21)	OBによる栄光襲撃?の噂への対処				
学園紛争 19・20期生の問題提起①	19期授業ボイコット写真		1970年11日5		
学園紛争 19・20期生の問題提起②	昭和45年紛争関係ビラ		1970年		
歩く大会コースなど	実施要綱、地図、写真など		1988年		
イエズス道行きの絵(大)1部額入り	田浦聖堂にかかっていたものか?				
イエズス道行きの絵(小)1部額入り	田浦聖堂にかかっていたものか?				
父母宛校長書簡	父母会案内等(初期は栄光会会長名) 中1			文書	わら半紙破損多し、取り扱い注意
父母宛校長書簡	個人面談呼び出し状(サンプル)			文書	わら半紙破損多し、取り扱い注意

身近な同窓生を探そう Vol.2

活動サポート部 島崎裕之 (26期)

前号(89号)にて書かせていただいた「同窓生地域分布」について、ここにご報告させていただきます。どちらかというと「少数派のエリア」で頑張っておられる同窓生にスポットを当てるようなデータとなっていますが、関西・中京地区にはやはり多くの同窓生がいらっしゃるようです。

同窓会HPを紐解いてみますと、過去にも関西や中部地区で集まった実績があり、首都圏でも埼玉で栄光会が発足

しております。静岡・広島も支部があったという時代もあります。

今年は大阪の震災、西日本豪雨といった地域の災害が続きましたが、有事の時に同窓生の絆が力を発揮する可能性があるかも知れません。

同窓会としては各地域支部の設立、活動活性化に支援を惜しまない所存ですので、是非ともお気軽にお問合せ・ご相談いただければ幸いです。

都道府県	総数	主な市町村別										学生				
関東	神奈川県	5,885														
	東京都	1,577														
	千葉県	206	千葉市	32	船橋市	25	市川市	20	松戸市	19	浦安市	19	柏市	15	千葉大生	14
			流山市	10	佐倉市	9	我孫子市	9	市原市	6	八千代市	6				
	埼玉県	104	さいたま市	19	所沢市	16	川越市	8	川口市	6	上尾市	6				
	茨城県	64	つくば市	32	土浦市	6	牛久市	5	水戸市	3	取手市	3			筑波大生	11
	栃木県	15	宇都宮市	6	下野市	4	大田原市・那須塩原市・上三川町・野木町・那須町 各1							宇都宮大生	1	
群馬県	4	高崎市	1	富岡市	1	長野原町	1	大泉町	1					群大生	2	
北海道	42	札幌市	26	函館市	2	苫小牧市	2	旭川市	2					北大生	17	
東北	青森県	2	弘前市	2										弘前大生	1	
	岩手県	2	盛岡市	2												
	宮城県	29	仙台市	28	塩竈市	1								東北大生	12	
	秋田県	3	秋田市	3												
	山形県	3	山形市	2	鶴岡市	1								山形大生	2	
	福島県	9	福島市	3	いわき市	2	郡山市・本宮市・猪苗代町・三春町 各1									
甲信越	新潟県	9	新潟市	4	長岡市	1	糸魚川市	1	上越市	1	魚沼市	1	弥彦村	1	新潟大生	7
	山梨県	11	北杜市	3	甲斐市	2	中央市	2	甲府市・韮崎市・上野原市・山中湖村各1					梨大生	5	
	長野県	19	松本市	4	長野市	2	上田市	2	茅野市	2					信州大生	2
北陸	富山県	5	富山市	4	氷見市	1								富山大生	3	
	石川県	6	金沢市	3	小松市	2	白山市	1						金沢大生	1	
	福井県	0														
東海	岐阜県	8	岐阜市	2	多治見市	2	大垣市	1	高山市	1	中津川市	1	瑞浪市	1		
	静岡県	54	浜松市	11	静岡市	8	三島市	6	伊東市	6	熱海市	5	長泉町	4	浜松医大生	1
	愛知県	44	名古屋市	27	豊田市	5	岡崎市	3	日進市	2					名大生	1
	三重県	4	四日市市	1	桑名市	1	名張市	1	菟野町	1						
関西	滋賀県	11	大津市	8	近江八幡市	1	野洲市	1	高島市	1						
	京都府	40	京都市	28	宇治市	4	長岡京市	3	福知山市・舞鶴市・向日市・八幡市・木津川市 各1					京大28,同大1		
	大阪府	43	大阪市	11	堺市	6	吹田市	6	豊中市	5	高槻市	3	茨木市	3	阪大生	9
	兵庫県	56	神戸市	19	西宮市	11	芦屋市	8	宝塚市	7	明石市	2	猪名川町	2	神戸大生	1
	奈良県	7	奈良市	5	橿原市	1	斑鳩町	1								
	和歌山県	2	和歌山市	1	美浜町	1										
中国	鳥取県	1	米子市	1												
	島根県	2	出雲市	2										島根大生	1	
	岡山県	7	倉敷市	4	岡山市	3										
	広島県	8	広島市	4	福山市	2	東広島市	1	府中町	1					広島大生	1
	山口県	10	下関市	3	山口市	2	宇部市・防府市・下松市・周南市・周防大島町 各1									
四国	香川県	0														
	徳島県	0														
	愛媛県	1	松山市	1										愛媛大生	1	
	高知県	2	高知市	1	北川村	1										
九州・沖縄	福岡県	16	福岡市	14	北九州市	1	宗像市	1								
	佐賀県	1	佐賀市	1												
	長崎県	5	長崎市	4	長与町	1										
	熊本県	4	熊本市	2	水俣市	1	南阿蘇村	1								
	大分県	1	別府市	1												
	宮崎県	0														
	鹿児島県	3	鹿児島市	2	屋久島町	1										
沖縄県	7	那覇市	3	浦添市	2	石垣市	1	西原町	1							
合計	8,332															

※ 2018年3月に作成したデータであるため、変動要素があります。

※ 移転しても同窓会本部への変更届がない方については、前住所や実家の住所になっている場合があります。

※ 学生については、おおむね栄光卒業後6年程度を在学中とみなしています。また、学生で住所を通学区に変更していない場合等、各市・地域及び学生との総合計が上回る道府県もあります。

同窓会事務局

[日時] 2018年5月12日(土) 12:00~14:50

[場所] 栄光学園アロジオ会館ホール

[出席者] (カッコ内の数字は卒業の期)

会長：山田宏幸(30)、副会長：関根修一(20)、増木洋介(30)、部長：青木嘉光(10)、島崎裕之(26)、高橋英治(28)、近藤亮介(45)

幹事：大須賀善彦(39)、米村俊彦(43)、兒玉洋貴(54)
常任委員：東海林 修(2)、鈴木宙明(4)、河相 董(8)、内山正樹(9)、本山駿一郎(10)、花川泰雄(11)、花井勝三(12)、大島弘尚(14)、蓮沼 明(17)、菱沼徹臣(17)、早川光敬(18)、広瀬裕敏(21)、佐藤耕太郎(27)、中路喜之(29)、宮川祐一(30)、壺岐 太(32)、河原光博(37)、石田明久(51)

会計監事：上甲雅敬(33)、事務局長：前山茂雄(13) (記)

(以上役員・常任委員 30名)

支部役員 *(兼): 広瀬裕敏(サッカー部OB会 21)、古谷哲夫(物理部OB会 21)、平岡慎雄(インディアンクラブ 17)、花井勝三*(栄光学園野球部OB会 12)、鬼頭文彦(栄光医師会 14)、関根修一*(栄光法曹会 20)、上甲雅敬*(公認会計士税理士栄光会 33)、森 義博(明治安田生命栄光会 25)、上原 真(栄光学園横須賀OB会 31)、伊東正博(鎌倉栄光会 14)、牧野進一(藤沢栄光会 9)、花川泰雄*(栄光同窓カトリックの会 11)

(以上支部役員 8名) (除く(兼)出席者)

各期委員：小島恒雄(1)、富山英昌(3)、三春勝正(6)、石川俊克(7)、荻原佳樹(7)、齋籐 肇(7)、高井直紀(8)、小久保勝右(9)、八木英樹(9)、山口憲一(9)、奥山 巖(11)、牧野文勝(11)、谷 繁信(13)、高垣洋太郎(14)、杉浦俊紀(16)、平井明登(18)、前田 洋(18)、周佐善和(28)、前田真孝(29)、森 厚(31)、村井基彦(37)、西條 達(40)、佐々木健太郎(40)、青木亮介(66)、園生悠太(66)

(以上各期委員 25名)

総計63名

来賓：望月伸一郎 校長

[配布資料] 2018年度定期総会議案書

[議事内容]

1. 議長の選出

仮議長を務める関根副会長(20)が開会を宣言し、議長に花井常任委員(12)を選出した。

2. 山田 宏幸 同窓会会長挨拶

昨年度の総会から同窓会長を務めている山田です。昨年の総会の挨拶では、言いたいこと、伝えたいことの半分もお伝え出来なかったのが、この場をお借りして少し自己紹介などもさせていただきます。

生まれ育ちは鎌倉市で、横須賀市役所に就職しました。水道局に30年勤めていましたが、昨年より土木部に異動して、道路の整備をやっています。栄光の30期卒業で今年の新会員が66期ということで、真ん中を少し過ぎた世代になります。現在住んでいるのは逗子市で、逗葉栄光同窓会や勤務先の栄光学園横須賀OB会、また会長になってからは多くの支部などからのご招待をいただき参加しているという状況です。同窓会は総会員数11千人を超えていますが、1期生49名からスタートしたそうです。段々大きく、幅も広がってきています。活性化のため、更に頑張っていかなければならないと思っています。

70周年記念に関しては皆様から多大な寄付をいただき、ご覧いただいているような立派な校舎が建ちました。後輩たちも新校舎で学園生活を楽しんでいるようです。寄付金は5億円目標に対して実績4億5千万円弱と目標の9割近くになりました。同窓会としても目標2億円に対し、2億5千万円を超える寄付をいただきました。ありがとうございました。

そういった中で同窓会としては足元を固めていこうということで、まずはホームページのリニューアルを進めています。それ以外にも諸々検討課題があり、今日は事業報告や来年度計画などで説明してまいりますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

3. 望月 伸一郎 校長のご挨拶

校長の望月と申します。よろしく願いいたします。同窓会の皆様には物心両面にわたって学園の活動を支えていただき心よりお礼を申し上げます。

今山田会長からもご紹介いただきましたが、学園の70周年事業に関しましては、同窓会・後援会・栄光会など多数の方々をお願いして多大なご寄付をいただきました。特に同窓会の方々からは全体の56%の金額をいただきました。本当にありがとうございました。募金活動は3月末までの予定でしたが4月に入ってから入金があり、4月末までとしました。

新しい校舎は出来ましたが、大船移転以来使っている第1体育館や大講堂などもあり、今後20年は使えるように手入れしていきたいと考えています。

教育活動では、高1ゼミ・OBゼミは、今年は28、38期の方々にご担当いただきます。教職員としては、24期長屋さ

んが事務統括、48期鈴木さん・58期古谷さんが教員として着任しました。私立学校では伝統を守りつつ新しいものを取り入れていくことが大事ですが、伝統の継承に力になっていくと思います。

新校舎の使用開始から1年2か月が経とうとしていますが、もっと長く経ったように感じます。新校舎が栄光の教育スタイルに合っているためだろうと考えています。今後中味も含めてより充実させていきたいと考えています。

最近のニュースでは、3月に第7回科学の甲子園 全国大会で栄光チームが優勝し、アメリカでの大会に出場することになりました。また野球部も春の神奈川県大会で13年振りに優勝し、5月下旬の関東大会に出場します。

これからも更に内容の充実した学校にしていきたいと考えていますのでご支援よろしくお願ひします。

4. 66期委員紹介

花井議長より今年入会した66期の委員4名(青木亮介、井上周平、鈴木勇太、園生悠太)の名前が紹介され、出席した園生委員・青木委員から新任の挨拶があった。

園生委員:66期委員の園生悠太と申します。中高時代はサッカー部に所属していました。今は慶応大学経済学部にも所属しています。昨年までの6年間を振り返ると、皆様方のご支援のおかげで充実した素晴らしい学生生活を送ることが出来ました。66期を代表して改めて感謝申し上げます。今後は一OBとして自分を育ててくれた栄光学園に恩返しが出来るようにしていきたいと思っています。

青木委員:66期委員の青木亮介と申します。中高時代は硬式テニス部に所属していました。現在は駿台予備学校に通っています。栄光学園同窓会の一員になれたことをとても光栄に思っています。これまで生徒として栄光学園に参加してきましたが、これからは支える側として見ていきたいと思っています。

5. 2017年度事業報告

関根副会長から、議案書に沿って報告を行った。

2017年度は、テーマとして掲げた「人を繋ぐ、人が繋がる同窓会」を実現していくため、母校創立70周年事業への支援の総仕上げと、名簿、情報発信及び共有、コミュニケーション強化のための検討と改善などの諸施策に取り組んできた。具体的には、年度前半では、創立70周年事業として、新校舎でのイベント、みなとみらいでの記念コンサートとパーティーを行った。また、年度後半では、特別委員会「繋がるプラットフォームP/T」において、繋がる手段としての入口であるホームページのリニューアルを中心に事業を進めた。

2015年度の会則の改訂を受け、2017年度は、特別委員

会をきっかけとして幹事を増強し、会務執行機能の強化を図った。

活動サポートは、各期の活動活性化を模索するとともに、各地域の卒業生の分布状況の把握など、現状分析に着手した。また70周年記念としても位置付けられた「オール栄光ゴルフコンペ」にも協力した。

名簿のあり方は、2016年度からの継続課題であり、ホームページリニューアル後の特別委員会での継続課題とした。会費については、日ごろからの会員への働きかけなどにより納入率が若干改善したものの、持続可能な会とするための会費徴収方法や経常収支のあり方などの検討は、名簿と併せ継続課題となった。

(1) 総務部

- ・ 会員名簿のあり方を検討し、リニューアル・ホームページ開始時に、“WEB版名簿”が実現するよう検討を続けている。
- ・ 同窓会実働人員を増やす工夫の検討を継続した。
- ・ 事務局との協力関係の一層の充実に努めた。
- ・ イエズス会校同窓会連絡会(JJHAF)を2017年11月4日、本学で開催した。

(2) 財務部

- ・ 会費請求では、第4グループ842名とその他グループのうち未納の会員3,227名に請求書を発送した。
- ・ 地道な会費納入依頼活動を実施した結果、会費納入率は47.0%と前年比2.0ポイント上昇した。
- ・ 年度の収支は、学園創立70周年事業を盛り上げ、祝いと会員への感謝のために行ったイベントのコストの影響が大きく、合計2,047千円の支出超過となった。
- ・ 中長期的な、より健全な収支モデル構築のため、会費以外の収入源についての検討も行った。

(3) 広報部

- ・ The Eiko Alumni第88号、第89号を発行した。
- ・ 第88号が32ページ、第89号が34ページの構成で、ともに約8,400部を発送した。
- ・ ホームページは機材トラブル等があり、記事の更新が一時停止した。

(4) 事業部

- ・ 栄光祭でホームカミング・デイ(OBの部屋「アラムナイ」)を実施した。
- ・ OBフォーラムは6月に「隈研吾塾」と題し、学園講堂において実施した。
- ・ 歴史文学散歩は、6期三春勝正氏、14期大島弘尚氏を中心に4回実施した。

- ・OBゼミに27期・37期からOB講師を派遣し、合計23回実施した。
- ・「栄光学園創立70周年事業」関連事業として8月に創立70周年記念コンサート、記念パーティーを開催した。

(5) 活動サポート部

- ・同期会開催促進に関する支援を推進し、活動状況の情報収集に専念した。年代としては50歳以上の活動は活発であるのに対し、30～40歳代の活動の情報が少ないという傾向は変わらない。
- ・現有の支部活動状況を情報収集、新支部の立ち上げを促し支援した。北海道栄光会が支部登録された。
- ・『母校創立70周年記念』の第二弾としてオール栄光ゴルフコンペの開催を支援した。
- ・本年度も東ティモールイエズス会校への支援を行った。

6. 2018年度委員紹介

花井議長から、今年度は委員改選期でないため、議案書に記載されているように基本的には昨年度と同じ委員での継続体制となる旨の説明があった。

7. 審議事項

第1号議案 2017年度決算承認に関する件

近藤財務部長から、収支計算書及び貸借対照表について説明があった。

収支計算書を見ると、当期収入は対予算24万円減の1,174万円であったが、対予算98%であり概ね達成した。会費納入率も47%と昨年より向上している。支出は総務費で70周年行事のため業務が増加し、人件費・事務経費等が増加した。事業費支出もOBフォーラム行事を盛大に行なったため、OBフォーラム運営費が約100万円の予算超過となった。支部・活動部支援費も19万円程予算超過しているが、それだけ活動が活発になった結果であり、よい傾向と考えられる。それらの結果、対予算182万円の支出超過となった。

貸借対照表では会費前受金が660万円強あり、総資産額は4,934万円になっている。

引き続き、上甲会計監事(33)より監査報告が行われ、「原田会計監事(24)と共同で監査したところ、収支計算書及び貸借対照表の内容は適正なもの認められる」との報告があった。

質疑

Q 鈴木(4): 栄光OBフォーラム運営費は大幅な赤字ですが、内訳はどうなっていますか。

A 増木副会長(30): 大規模なコンサートとパーティーを同時開催したため、広告宣伝費・コンサートの準備・パーティーの演出などで大口の支出が発生しました。

C 鈴木(4): 活動報告の中で実施したことだけが記録されていますが、100万円の赤字だったとかどういう課題が残ったかは記録しておくべきだと思います。今後配慮して下さい。

挙手による採決の結果、第1号議案は挙手多数で承認された。

第2号議案 2018年度事業計画承認に関する件

関根副会長から、議案書に基づき、今年度の事業計画について説明があった。

本2018年度は、リニューアルしたホームページの公開とその運用を軌道に乗せること及びEACONを中心とした名簿情報の充実、名簿についての検討が活動の軸となる。また、イエズス会校の法人合併を踏まえ、姉妹校との繋がり方を模索すべく、共催イベントなどを検討していく。

2018年度は、ホームページ運営のための委員会を設置し、ホームページの内容を継続的に充実させていくこと、会員の皆さんが見たいと思える内容とするため、多角的、多面的に情報を収集できるようにすることなどを念頭に、議論と作業を進めていく。さらには、学園が進めているアーカイブ整備に協力し、整理されたアーカイブ情報をホームページコンテンツとすることを、学園と協議し、検討していく。また、名簿については、昨年度設置した特別委員会で引き続き検討していく。

同期会・支部のさらなる活性化を図り、委員会やイベントなどをきっかけとし、若手委員、幹事の発掘などをさらに進めていく。

会の財政は、根本的な手法の見直しを検討するなど、将来に備えることが必要となる。現状分析を継続的に行うとともに、ホームページの運用、名簿のあり方と併せ、2018年度の課題とする。具体的には、会員データ管理、名簿印刷、EACONの活用と機能改善及び普及促進、会費納入率と会費徴収方法などを検討し、可能なものから解決、改善するとともに、引き続き進むべき方向性を探っていく。

さらには、今後の検討事項として、母校創立70周年後の学園との関わり方や定常的な募金のあり方などが挙げられる。学園と情報共有を図り、必要な場合はタイミングを逸することなく、同窓会としての方向性を検討するとともに、学園と協議を行う。

(1) 総務部

- ・特別委員会”繋がるプラットフォームP/T”の事務局と

2017(平成29)年度収支計算書

栄光学園同窓会

自2017年4月 1日
至2018年3月31日

(単位:円)

収入の部

	科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1.	前 年 度 繰 越 金				
2.	当 期 収 入				
	入 会 金 収 入				
	会 費 収 入				
	過 年 度 会 費 収 入				
	名 簿 広 告 収 入				
	受 取 利 息 収 入				
	雑 収 入				
	前 受 金 収 入				
	(調整勘定)				
	前 期 末 前 受 金				
	当期収入 計				
	収入の部 合計				

支出の部

1.	総 務 費				
	給 与				
	通 信 費				
	交 通 費				
	印 刷 費				
	事 務 用 品 費				
	会 議 費				
	慶 弔 費				
	器 具 備 品 費				
	手 数 料				
	補 修 費				
	雑 費				
	予 備 費				
	小 計				
2.	事 業 費				
	名 簿 印 刷 費				
	会 報 印 刷 費				
	発 送 費				
	ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費				
	ホ ー ム ・ カ ミ ャ ン ク テ ー イ 運 営 費				
	退 職 教 職 員 の 会 補 助 費				
	支 部 ・ 活 動 グ ル ー プ 等 支 援 費				
	OB ゼ ミ 運 営 費				
	栄 光 OB フ ォ ー ラ ム 運 営 費				
	JJHAF 等 活 動 費				
	同 窓 会 記 念 品 製 作 費				
	寄 付 金				
	小 計				
	当 期 支 出 計				
3.	次 年 度 繰 越				
	支 出 の 部 合 計				

ホームページへのバックナンバー掲載に際し、2017年度
収支計算書の掲載を割愛させていただきます。(広報部)

して、リニューアル・ホームページのフォローアップ、実践力のある人材の発掘、事業と費用の見直しなどの議

論を推進する

・ 改訂同窓会会則の一部見直し要請へ対応していく。

- ・事務局との個別案件での連携をさらに増強していく。
- ・イエズス会校同窓会連絡会(JJHAF)対応、姉妹校コラボ企画について事業部に協力していく。

- ・引き続き、東ティモールイエズス会校への支援などの社会貢献活動を行っていく。

(2) 財務部

- ・会費納入について、各種イベントで未納がある会員に納付を依頼し、納入率50%超を目指す。
- ・予算の重点的配分と節約をすべきところは可能な限り縮減するという方針を徹底する。予算と実績の比較分析結果を翌期以降の予算策定に生かし、より健全な収支モデルを構築していく。

(3) 広報部

- ・会報The Eiko Alumniは10月上旬に90号、来年4月上旬に91号を発行する。
- ・ホームページは特別委員会を中心にリニューアルを行い、運用を業者に委託する。
- ・掲載する記事について、記事の収集を積極的に行っていたと委員を募り、新たな話題を提供してもらう。同窓会のFacebookページを転載して投稿を受け付ける機能も検討する。
- ・EACONについては名簿機能を中心に継続して運用を推進する。

(4) 事業部

- ・ここ数年の母校創立70周年事業は昨年度で完了し、例年の事業をしっかりと行う。
- ・姉妹校をはじめとした他校同窓会との交流事業にも取り組んでいく。
- ・栄光祭においてOBの部屋「アラムナイ」を設置し、同窓生交流の場を提供する。
- ・第10回OBフォーラムを、2018年秋に開催する予定である。
- ・6期三春勝正氏、14期大島弘尚氏を中心に、年4回の歴史・文学散策を行う。
- ・JJHAF共同イベントの実施に向けて検討を開始する。
- ・高1ゼミ及び公開ゼミへのOB講師の派遣を行う。本年度は28期と38期が担当する。

(5) 活動サポート部

- ・情報の共有化を拡大させ、活動をサポートしていく。
- ・同窓生の横の繋がりを強化のため、各期幹事とのコミュニケーションを図る
- ・同窓生の縦の繋がりを強化のため、新規支部の立ち上げ、既存支部の再活性化を図る。
- ・昨年に続き、オール栄光ゴルフコンペを後援する。

質疑

Q 石田(51):同窓生の縦横の繋がりを分析するとのことですが、同期会をやっていない期とか、OB会のないクラブ等に開催を呼び掛けるという理解で間違いありませんか。

A 島崎活動サポート部長:同窓会本部としてあしろうしろという指示する立場ではなく、それぞれの構成員が自主的にやろうというのを支援していきます。ただ、現状についてその現構成員だけが知っているのでは拡大・継続しないので、会員への認知度アップという意味でも支部とかの形にしていくのが望ましいと考えます。そういった情報があれば、是非情報提供いただきたいと思います。

Q 石田(51):事務局は、卒業生の分布と支部の存在についてのデータを把握していますか。

A 島崎活動サポート部長:分析に着手しているが、名簿の更新が必ずしもリアルタイムに行われていないので、その点も考慮が必要です。支部については立ち上げは重要だが、その後の継続についてもフォローが必要だと思います。

Q 石田(51):ホームページにFacebookの内容を転載していきたいとのことですが、寄稿者も限られており、コンテンツを確保できますか。

A 高橋広報部長:転載のためには、Facebookは現在メンバー限定でありホームページは限定なしと調整が必要となります。また、コンテンツが少ない点に関しては、会報送付時に同封した依頼書でホームページ運営に協力いただける方を募集しており、既に何名かの応募もいただいています。

Q 花川(11):母校70周年後の学園との関わり方や定常的な募金のあり方などを検討するとのことですが、具体的にどんなことを考えていますか。例えば、奨学金制度の創設等は如何ですか。

A 山田会長:新校舎竣工後も手をかけなければならない建物・設備が多々あり、学園の財政状況は決して潤沢とは言えず、卒業生の寄付への期待が高い状況です。また、卒業生からもサッカーグラウンドを人工芝にするための寄付をしたい等の意見もあります。今のところ寄付を受け付ける定常的な仕組みがないので、まずはそういった仕組みを作りたいと考えています。奨学金については以前から提案はありましたが、実現していませんでした。他校でも取り組みを始めているようなので、今回の募金検討の中で課題としていきます。

A 関根副会長:同窓会がらみの奨学金は今のところありませんが、栄光学園自体に奨学金制度がないということではありません。

Q 鈴木(4):議案書の事業計画には各部のものだけが書

かれているが、私の所属する常任委員会や事務局にも課題があり、それらに対する計画があるべきと思うが如何ですか。また、課題は毎年同じようなものが継続しているようです。会議の記録として、議事録を残すようにしていただきたい。

A 山田会長:端的に答えるのが難しい質問ですが、実務を検討する部長会で決めたことを審議いただく場として常任委員会を位置付けています。そのため、常任委員会の事業計画は現状考えていません。事務局も実務的作業をサポートするという位置付けであり、事業計画は考えていません。

A 関根副会長:常任委員会議事録が定期的に配布されていたという記憶はありませんが、必要なことは確かなので具体化していきたいと思います。毎年同じような課題が継続しているのご指摘がありましたが、例えば紙の名簿についてはEACONの名簿機能を改善してほぼ紙の名簿並みに出来たなどそれなりにはやっているの、ご理解のほどよろしくをお願いします。

Q 鈴木(4):ここ数年、総会での財務報告がホームページ・会報などに掲載されてない。数年前に質問したら、載せませんとの回答がありました。

A 山田会長:総会で報告しているデータであり隠すものではないので、会報に載せるようにします。ホームページ掲載については会員以外でも見られる可能性があるの、会員のみが閲覧できるようにします。

A 青木総務部長:ホームページへの掲載について、後で報告する“繋がるプラットフォームP/T”報告の中で説明します。

挙手による採決の結果、第2号議案は賛成多数で承認された。

第3号議案 2018年度収支予算案承認に関する件

- ・ 近藤財務部長より今年度の予算案について、議案書に基づき説明があった。
- ・ 収入については、今年度対象が人数の多い第1グループなので過去実績並に増加させた。
- ・ 支出は概ね前期実績をベースにしているが、ホームページ運営費ではリニューアルの初期投資と毎月の運営費のため2百万円計上した。OBフォーラム運営費について、前期は70周年記念事業のため、額が大きかったが今期は通常年度並みの予算とした。
- ・ 以上により、収支はプラス120万円の黒字となる。

質疑

Q 小久保(9):前受金収入の備考欄に67期190人と記載されているが、每期180人ではないのですか。

A 近藤財務部長:期によって人数は異なり、67期は190名になっています。

A 山田会長:学園入学者数が昔とは異なってきています。昔は180名合格、20名補欠程度で収まっていましたが、最近是他校への流出も多くなり、その数を読むのが難しくなり、各期の人数にバラツキが生じています。

Q 富山(3):ホームページ運営費についての質問です。アラムナイ4月号によれば、ホームページリニューアルを学園と同じ業者に委託することになりました。従来からのEACONを含めて、調査費・開発費・毎年の運営費等の発生が考えられますが、その見込みはどれ位になりますか。

A 青木総務部長:予算額200万円の内訳は、EACON運営費60万円・ホームページ運営費36万円・ホームページ初期費用108万円程度を考えています。新ホームページが立上がると修正要求なども出てくると思いますが、大した金額にはならないと考えています。

A 関根副会長:補足説明します。紙の名簿の作成・発送に約400万円/2年以上の費用が発生していました。紙の名簿発行が難しくなっており、その代替としてのホームページや電子名簿システムに移行するなら、200万円/年程度は使えることになります。但し、会費納入率が大幅に下って40%を切ったりすると再検討が必要になります。

挙手による採決の結果、第3号議案は賛成多数で承認された。

第4号議案 会則第5章役員及び委員、第8条(役員)第2項、並びに第10条(副会長)第1項の改訂に関する件

青木総務部長より会則改定提案について、議案書に基づき説明があった。

役員業務について状況に応じた柔軟性を持たせるため、会則第8条第2項の副会長を現在「2名以内」を「3名以内」としたい。これに伴って第10条第1項の「副会長が2名あるとき」を「副会長が複数名あるとき」と改訂する。

質疑

Q 鈴木(4):何故3名なのか具体的に説明してください。また、増えた枠は今日決めるのですか。

A 山田会長:実は、この改訂は私の提案です。うれしいことに同窓会活動の活性化に伴い、支部会などに呼ばれる機会が増えています。現在は会長1名・副会長2名でどうにか対応していますが、状況によっては厳しくなることも予想されますので、枠を増しておくようお願いしました。今年直ちに増員するというのではなく、今年状況を見て必要ということなら役員選任時に増員したいと思います。

Q 鈴木(4):提案のバックグラウンド等詳細が分かりません。3名の理由をもう少し明確にして下さい。

A 山田会長:副会長は3名でなければならぬということはありません。支部会などから会長宛に参加要請があるの

2018(平成30)年度収支予算書案

栄光学園同窓会

自2018年 4月 1日
至2019年 3月31日
(単位:円)

第5号議案
会則第6章
会議、第21
条(部長会)
の改訂に関
する件

収入の部

科目	(ご参考) 2017年度実績	予 算	備 考
1. 前 年 度 繰 越 金			
2. 当 期 収 入			
入 会 金 収 入			
当 年 度 会 費 収 入			
過 年 度 会 費 収 入			
名 簿 広 告 収 入			
受 取 利 息 収 入			
雑 収 入			
前 受 金 収 入			
(調整勘定)			
前 期 末 前 受 金			
当 期 収 入 計			
収 入 の 部 合 計			

支出の部

1. 総 務 費			
給 与 費			
通 信 費			
交 通 費			
印 刷 費			
事 務 用 品 費			
会 議 弔 品 費			
慶 弔 品 費			
器 具 備 修 費			
手 補 修 費			
雑 費			
予 備 費			
小 計			
2. 事 業 費			
名 簿 印 刷 費			
会 報 印 刷 費			
発 送 費			
編 集 取 材 費			
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費			
ホ ー ム ・ カ ミ ン グ テ イ 運 営 費			
退 職 教 職 員 の 会 補 助 費			
支 部 ・ 活 動 グ ル ー プ 等 支 援 費			
OB ゼ ミ 運 営 費			
栄 光 OB フ ォ ー ラ ム 運 営 費			
JJHAF 等 活 動 費			
同 窓 会 記 念 品 製 作 費			
寄 付 金			
小 計			
当 期 支 出 計			
3. 次 年 度 繰 越 支 出 の 部 合 計			

ホームページへのバックナンバー掲載に際し、2018年度
収支予算案の掲載を割愛させていただきます。(広報部)

青木総務
部長より会
則改定提案
について、
議案書に基
づき説明が
あった。

本提案は
簡単に言う
と「部長会」と
いう呼称を
「執行委員
会」に変更
するというも
のです。最
近各部横断
的事項や検
討項目が増
えてきて、
会議に出席
する幹事も
増える傾向
にあります。そ
ういった会
議の実態に
合わせて名
称を変更し
たいと思い
ます。

具体的
には会則第
21条の「部
長会」を「
執行

委員会」に変更し、それに伴う文言も修正するものです。

質疑

Q 鈴木(4):その他に常任委員会がありますが、執行委員会との違いは何ですか。

A 関根副会長:歴史的には常任委員会は執行機関であ

で、必要に応じて代行できるよう副会長枠を増やしたいとい
うことです。

挙手による採決の結果、第4号議案は賛成多数で承認され
た。

りかつ決議機関であるという認識が比較的長く続いていました。その中で常任委員会があくまでも決議機関であり執行機関ではないという意見も強くあり、常任委員に仕事をお願いするとそれは常任委員の仕事ではないとの反論を受けることもありました。常任委員会が決議機関だとすると、執行機関を考えなければならなくなります。会長・副会長が執行機関だった時もありましたが、それだけでは機能しないということで、部長や幹事が任命されるようになってきました。現在の会則は決議機関・執行機関を分けた形で作られています。

Q 鈴木(4):常任委員会は会則で「次の事項を審議する」とかなり明確になっているが執行委員会は「…の情報伝達及び調整を図る」と曖昧な表現になっている。見直した方がよいと思います。

A 山田会長:歴史的には、私も会則の部長会の役割表現はぼかしていると感じています。元々同窓会の執行は会長で、副会長がそれを補佐し、部長・幹事・期委員等が実務を担っていました。部長会の役割を明確にしてしまうと会長の役割と二重構造的になってしまうので、あえて曖昧のままにしてあると思います。

A 関根副会長:現会則は、会長が会務を統括し(9条)副会長は会長を補佐し(10条)、幹事が事業運営に当たる(12条)という作りになっています。常任委員会は会議という位置付けです。また、今回提案の執行委員会は連絡会であって機能として独立したものを持っていないというのが会則の成り立ちです。

Q 森(25):今日の議案は常任委員会で承認された上で提案されていると理解していますが、それに対して常任委員の方から質問が出るのには違和感があります。常任委員会が機能していないということでしょうか。

A 関根副会長:常任委員会では決を採って承認いただいています。

C 河相(8):私も常任委員会に出席しています。常任委員に何が期待されるかはっきりしない点もありますが、会社組織に当てはめると、総会は株主総会、常任委員会は取締役会、常任委員は社内取締役、執行委員は執行役員と大体重なと思います。今回の提案は名称を変更するということと理解しています。鈴木委員の質問は、委員会の機能は何かという新しい話ですので、別に検討したらいいと思います。

花井議長:本件は名称変更として決を採り、機能などについては今後常任委員会などの場で解決を図っていただくことにしたいと思います。

挙手による採決の結果、第5号議案は賛成多数で承認された。

8. その他

特別委員会 “繋がるプラットフォームP/T”報告

青木総務部長:昨年7月からのP/T活動(アラムナイ(No.88,89)参照)により、ホームページのリニューアルがほぼ完成しました。1.画面を整理して見易く 2.沢山の方に見てもらえるような新企画やFaceBookとの連携等の検討 3. EACONとの接点を改善する等を狙いとして、検討してきました。

(大須賀委員(39)と共に、画面毎に内容を表示しながら説明した)

今後の進め方、EACONの更新など進行中の課題もありますが、来週明けから1週間程度今日ご紹介したホームページをプレビュー版として委員の方々に公開しますので、お気付きの点など事務局へご連絡ください。それらを出来るだけ反映して、今月末を目処に正式公開をスタートさせたいと思います。

質疑

Q 花川(11):ホームページへの投稿は今までのように受け付けてもらえますか。

A 青木総務部長:従来通り事務局を窓口にして受け付けます。

Q 三春(6):一部の文書にはダウンロードの際にパスワードが必要とのことですが、それは個人毎に決められるのですか。

A 青木総務部長:全員一律でEACONの中に表示します。

Q 佐々木(40):今後紙の名簿は作らないのですか。EACONがそれに代わるとすれば、紙の名簿にある情報はすべて確保されますか。

A 青木総務部長:全て登録可能で、公開・非公開も項目別・相手別に選択できるようになっています。デフォルトでは厳し目に設定されているので、住所も全く表示されないことも多いですが皆様のデータ入力が進んだら見直しも提案していきたいと考えています。なお、EACONのデータは4年前の紙の名簿のデータを登録しており、以降の変更を届け出や自分で修正していないと誤ったデータになります。

A 山田会長:紙の名簿をどうするかについては未だ正式決定していません。個人情報保護法とEACONでは公開範囲を自分で設定できるということ、名簿発行費用などの財政状況などから基本的方向が名簿のEACON化であることは間違いありません。ただし、紙名簿を全く無くしていいのか、また残すとしたらどんな形で発行できるのかなど検討していかなければならないと思います。

Q 鈴木(4):今日集まっている人たちはどれ位EACONを使っているのでしょうか。

A 花井議長:自分の最新情報をEACONに登録してい

る人、挙手願います。

大体8割くらいの方が登録されているようです。

この1か月間にEACONを利用した人、挙手願います。

大体半分くらいの方が利用されたようです。

山田会長：最後にこの1年間ホームページリニューアルにご尽力いただいた青木さん初めメンバーの方々に感謝いたします。また、ご意見をいただく際、この検討結果を覆すようなものや諸般の事情で難しいことが確認された投稿サイトについては、現状対応できないことをご理解いただきたいと思います。

閉会の辞

閉会に当たり、今回初出席の園生委員(66)から初出席の感想の後、閉会宣言があった。

「今までの学園生活がこういう風に助けられてきたのだと改めて感謝の念がわいてきました。ついて行けない話題もありましたが、これからも定期的に参加させていただいて、少しでも貢献出来るようにしていきたいと思います。

これをもちまして、2018年度栄光学園同窓会定期総会を閉会いたします。」

との宣言があり、総会を閉会した。

母校の様子

「学園通信」より

内山正樹 (9期)

2018年に入り母校は文武両道で大活躍でした。

第1回から5連続出場中の「科学の甲子園全国大会」で初優勝を飾り、米国で開催されたサイエンス・オリンピックに特別参加しました。

運動部では野球部が春季関東高校軟式野球大会神奈川予選で優勝し、1都6県16チームがしのぎを削った関東大会で13年振りに優勝しました。更に、学園通信では次号に掲載されると思われませんが、夏季県大会Bブロック優勝し、全国大会出場を掛けた南関東大会(神奈川、千葉、埼玉)に進出しました。決勝まで勝ち上がりましたが、残念ながら慶應義塾高校にサヨナラ負けし全国大会出場は逃しました。

1. 第7回科学の甲子園全国大会

引率の塚本先生の前文及び高3(67期)Y君のレポートを紹介いたします。併せて読売新聞に掲載された「米の科学競技高校生挑戦－全国Vの栄光学園8人健闘－」の記事の一部を紹介いたします。

栄光学園は第1回大会から連続出場中の「科学の甲子園全国大会」。毎年のように入賞を重ねるものの最高順位は2位。優勝までの壁は厚いものでした。

物理研究部のメンバーを中心に編成された今回のチームは、筆記競技で断トツの1位に輝いたほか、3つの実技競技でも満遍なく上位の成績をおさめ、悲願の初優勝に輝きました。

優勝チームとして、この5月にアメリカ合衆国コロラド州で行われるサイエンスオリンピックへ派遣されます。(引率：塚本先生)

私は、科学の甲子園3日目の午後の、表彰式とその後の記者会見について書きたいと思います。

表彰式では、表彰に先立って、主催する科学技術振興協会の理事の方や、文部科学省の方などからの講話があり、続いて競技ごとの表彰で、各競技(筆記競技及び実技競技①～③)の第1位と第2位のチームがそれぞれ賞状を受け取りました。初めの筆記部門の表彰で、1位に栄光の名前が呼ばれたときは、とてもうれしかったです。また実技②部門でも第2位になることができました。

その後は、企業特別賞の表彰で、対象校は競技において優れたチームワークを発揮したチーム、筆記競技で独創的な解答をしたチームなど、賞ごとにさまざまなコンセプトがありました。

そしていよいよ総合成績の表彰です。まず6～10位のチームがまとめて発表され、その後上位5校の発表です。5位から順に1校ずつ発表されるにしたがって、緊張もだんだんと高まってきました。栄光の名前は最後まで呼ばれず、ついに第1位の高校の発表となり、会場も緊張する中、栄光学園と発表されたときにはとてもうれしかったです。

それから優勝杯や旗、目録、メダルなどの授与などがあり、写真撮影が行われ、表彰式が終了しました。その後ほかのチームは協同パートナーの企業による研究展示会に行く中、私たちは別室での記者会見となりました。移動の途中偶然出会った去年の科学の甲子園に出た先輩方や、準備をサポートしていただいた同期や後輩も見守ってくださる中、記者会見では優勝した時の感想や、これまでの準備の様子、競技でのチームワークなどについて尋ねられました。また写真や映像の撮影もありました。とても緊張しましたが、とてもいい経験ができたとありがたく思っています。(高3 Y君)

「米の科学競技 高校生挑戦」

高校生が科学の知識や実験、工作の技術を競う「第7回科学の甲子園全国大会」(科学技術振興機構主催)で初優勝した私立栄光学園高(鎌倉市)の男子生徒8人が、米国で開催された中高生の全米科学競技大会「サイエンス・オリンピックアド2018」に特別参加した。

「科学の甲子園」は6~8人でチームを組み、理科や数学、情報分野の筆記問題や実験などに挑み、総合点を競うもの。同高は第1回大会から7年連続で県代表に選ばれ、3月の全国大会で念願の全国制覇を果たした。

優勝メンバーとなった同高2、3年の8人は、大会の副賞として全米科学競技大会に参加できる権利を獲得。米・コロラド州立大で5月に開かれた大会に海外から唯一の招待チームとして参加した。

全米各州の予選を勝ち抜いた60チームとともに、科学の知識を駆使して容疑者を特定する「犯罪科学」、コンピューターゲームのプログラムを作成する「ゲーム・オン」など四つの協議に挑戦した8人は、慣れないルールや英語に苦しみながらも最高20位に入る健闘を見せた。(読売新聞より)

2. 野球部 春季県大会優勝、関東大会優勝

学園通信の部活動報告から抜粋して紹介します。

4月14日から5月6日にかけて行われた春季関東高等学校軟式野球大会神奈川県予選で、栄光学園は見事に13年ぶりの優勝を飾りました。その試合結果を報告したいと思います。



春季関東地区高等学校軟式野球大会優勝
夏季は惜しくも南関東大会決勝で敗れ、全国大会出場はならず

ところで今年のチームは身体能力が高く、軟式野球には欠かせない小技や盗塁に加え、長打が出やすいのが特徴です。試合ごとに違った戦い方で勝ち進むことができました。

2回戦 対 藤嶺藤沢 9x - 3
3回戦 対 横浜隼人 2 - 1
準決勝 対 県立商工 6x - 1
決勝 対 法政二高 5x - 1

続いて、5/24~5/28にかけて行われた春季関東地区高等学校軟式野球大会に栄光は神奈川A代表として出場、13年振りに優勝を果たしました。今年の春の関東大会は茨城県の土浦市にあるJ・COMスタジアム土浦を主会場として開催され、1都6県の代表計16校がしのぎを削りました。その試合結果を報告したいと思います。

1回戦 対 八千代松陰 8x - 1
2回戦 対 日大荏原 9x - 5
準決勝 対 下館第一 12x - 2
決勝 対 法政二高 7x - 4

関東で勝つことを目標としてきた春の大会。結果的にはその目標を達成し、優勝することができました。しかし、我々高校野球部の一番の、そして最終的な目標は夏の全国大会で勝ち、国体に出場することです。そして、夏の全国に出場するには、まず夏の神奈川県大会でブロック優勝し、その後行われる南関東大会(今年は神奈川から2校、千葉・埼玉から各1校が出場します)で、優勝しなければなりません。

今、野球部はその夏の県大会で勝つために、そして、なんとしてでも南関東で勝って明石(全国大会の開催地)に行くために、練習を積んでいます。夏の結果に期待しつつ、どうぞ温かい目で野球部員を見守ってやってください。

最後になりますが、栄光や保土ヶ谷、さらには茨城まで応援に来てくださった、栄光生、先生方、保護者の皆さま、卒業生の皆さま、本当にありがとうございました。(記録員 S君)

3. 66期卒業式

66期173名が卒業し同窓会に加入しましたが、卒業式のN君の「卒業生の言葉」を抜粋して紹介します。

卒業式答辞という素晴らしい舞台上、私は66期の代表として、66期がどのような集団であるかをいくつかのエピソードを通じて見直し、一人一人がこれからの社会でどのような人間になるべきか、一つの考えを述べたいと思います。

突然ですが、栄光学園は「オタク」の集まりです。オタクという一般にはサブカルチャーを愛好する者に適用される言葉です。しかし、今から私がお話しする栄光の「オタク」は、もっと広い意味で「一つのことにのめりこむ、恐ろしいくらいのエキスパート」を指します。ある者は数学に、ある者はギターに、ある者は丹沢に、そしてある者はタンザニアに惚れ込み、それぞれ様々な〇〇オタクと化していくのです。そしてそれは自然と各々の強烈な個性となっていきます。強烈な個性が混沌とまじりあう集合体こそ、紛れもない栄光学園の本質なのです。

そんな個性の塊である栄光生の趣味や特技、得意不得意、好き嫌いはもちろん一人一人異なるもので、対応して複数の「オタク」グループが学年内にできるのも当たり前です。66期はそのグループの棲み分けができていますと感じます。異なる考えをクールに尊重できているという意味です。学園での沢山の経験によって、異なる考えを尊重できるようになったのだと思います。では、一体どのようにしてその気風が育まれたのでしょうか。私はその問いの答えになるだろう一つの事柄を想起しました。

私は高2で生物研究部のキャプテンを務めており、日々、部の運営に邁進していました。そこに立ちほだかった、仮設校舎で制約だらけの栄光祭。その制約というも「満タン水槽を展示すると床が抜ける」などという普通では考えもつかないようなもの。私はサブキャプテンと真剣に悩みました。文化部にとって栄光祭は1年で一番大切なイベントです。なぜなら栄光祭は研究成果を発表する貴重な場であるとともに、新中1を部活動に勧誘する重要な機会でもあるからです。数々の重圧から、当時の私は「成功」という強迫観念にとらわれていました。

悩みを抱えながら、私はある日、同級生の栄光祭実行委員の作業に遭遇しました。そこで私は衝撃を受けます。もちろん実行委員も決まっていなかったことやできないことの方が多いという絶望的な状況におかれていました。先輩方からの引継ぎマニュアルでは対応できないことが山ほどあり、自分たちが作るマニュアルは来年には役に立たない。そんな中でも66期の実行委員は手探りで0から一つのものを作り上げようと奮闘していたのです。仮校舎用の特別なノウハウを次々と考案し、諸々の制約に果敢に挑んでいく同級生の熱

意に心動かされ、私も考え方を転換することにしました。

仮設校舎でしかできないことをする。この非常事態をチャンスとして活かす。こう考えると不思議と次々とアイデアが生まれてきました。

ここで改めて考えてみてください。校舎移転など数々の非常事態において、中心学年である66期に協調性と熱いハートが無くてこれらのイベントを完成できたでしょうか。66期は気づかずに、否応なしに協力せざるを得ない状況に放り込まれていたのです。奮闘する同級生に触発されて行動を起こした人は数えきれません。困難を通じて育まれた協調性と熱意は、体育祭や去年の栄光祭での高3企画にもいかに発揮されました。

もう一つ66期を創り上げた大きな要因が、66期のオタクの一人、加藤旭の存在です。誤解のないように繰り返しますが、「オタク」という言葉にはエキスパートの意味を含んでいます。改めて紹介すると、旭は10歳までに約500もの曲を作り、自らの病気発覚後にはそれらの曲をCD化して現在も様々な社会貢献に活用されています。加えて、彼は筋金入りの鉄道オタクでもあります。そんな加藤旭は私たちにこれから進むべき道を示しているように思えます。

それは、彼の驚くべき行動原理です。彼に関することはどうしても「若いうちに亡くなってしまってかわいそう」「小児がんをなくすために行動したなんて偉い」というニュアンスが含まれてしまいます。しかし、旭自身が彼のCDに寄せたメッセージにはそれとは少し異なったことが書いてあります。一部抜粋して紹介します。

「僕と同じように難病と闘う子にも聞いて楽しんでもらえれば嬉しいですが、ほかの子もみんな音楽のCDを楽しめるとは限りません。……その子は何がしたいのか、そのために何ができるのか、ということ、このCDをきっかけに考えていただけると嬉しいです」

俺は俺の得意な領分でやりたいことをやっただけだ。他の人も自分のやりたいことをやってみてほしい。

かっこいい！こんな考え方ができる人が世界中に一体何人いるのでしょうか。当然、彼だってもっと生きていたはずです。極限の状況でも、彼は他者に目を向け新たな行動を起こした。この姿勢には人生の長い短いということだけでは到底表し切れない、絶大な価値があります。私達は、彼が示す「他者のために自らが『これだ！』と思うことを実行する姿勢」を常に頭においてこれからの人生を送らなければなりません。旭は私たちの行動原理となって66期、栄光学園に生き続けるのです。

個性ある授業・学園の大変革・旭の行動、という三つのエピソードから、私はこれから生きていく社会における一つの指針を見出すことができるのではないかと考えます。それは

「他者を尊重できる熱意を持った専門家であれ」ということです。専門家達が、他者をクールに尊重し、熱いハートを持って、「自分は他者のために何ができるのか」をがむしゃらに考えていく。奇しくもこの姿勢は、現在の社会で求められている人間像と合致します。

栄光での経験から導き出された、「他者を尊重できる熱意を持った専門家であれ」という栄光学園で導き出された一つの指針は、世界中で必要とされる人間像の根本であると思います。この6年間で私たちは最も大切なことをすでに学んでいるのではないのでしょうか。となると66期は、日本を、世界を動かす力を潜在的に持つと言えます。あとはその力を自覚し、社会で存分に発揮していただくだけです。

改めて、今日まで我々66期を時に熱く、時に静かに、そしていつも優しく見守ってくださった教職員の皆様や家族、至らなかつたところもあったけどしっかりついてきてくれた後輩達、ここにいる全ての人に対して、66期を代表して心から感謝申し上げます。そして、66期大好きです。本当にありがとうございました。

(66期 N君)

4. 高2(67期)沖縄修学旅行

67期の沖縄修学旅行が2月15日から18日まで実施されました。修学旅行委員会で副委員長を務めたM君の準備段階の感想を紹介します。

修学旅行委員が発足したのは5月下旬。早い。まだあと9か月くらいあるので、みんな旅行の実感がなく、どんなものなのか分からなかつたと思う。最初の旅行委員の仕事は、1日目の自由行動のモデルコース作成とそのプレゼンだ。委員が考えた大まかなテーマに沿って、担当するそれぞれの委員が夏休み中に細かいプランを考えてくる。10月の発表に向けてイメージを膨らまし、自分が考えたコースの魅力を熱弁した。みんなだんだん沖縄旅行のイメージができてきたころだと思う。

その後、自由行動班を決める。中間試験を挟み、次は3・4日目の選択コースを決める。この選択コースには定員が定められており、もし予備調査で定員オーバーしてしまうと、抽選になってしまう。しかし、プレゼンをした委員は無抽選でそのコースに参加することができるという特権を持つので、自分が参加したいコースは積極的にプレゼンをしたい！という委員がたくさん出てくる。なんともよくできたルールだと思った。プレゼンするときは自作のパワポを使ってみんなの前で発表するのだが、ワードを下にスクロールさせて無理やりパワポみたいにして発表したり、ある先生の授業中のパワポを完璧にオマージュして発表した委員がいたり、とても個性豊かな発表ばかりで面白かつた。

3日目は25コース、4日目は12コースもあるので、どのコースにするかは、かなり悩む。人気のありそうなところは抽選になる可能性が高いため、みんながどのコースを選ぶかを予測しつつ、希望のコースを決めなければならなかつた。廊下に集計結果が張り出されたときは、合格発表のときみたいに大声で喜んだり嘆いたりしていた。11月から12月にかけて行われた選択コースの抽選会は、ドラフトくらいに盛り上がり、両方とも運よく抽選にならなかつた僕（意外にも少数派！）にとって、なつた人には申し訳ないが、見てて楽しかつた。

そんなこんなで我々は冬休みを迎える。委員に限らず、冬休みに自分の班の自由行動のルートを決めるという宿題が出された。僕たちの班は、那覇空港に着いたら、美味いと評判の首里そばの店に行って腹を満たし、世界遺産にもなっている識名園にタクシーで行った後、徒歩で沖縄の街並みを楽しみながら首里城を巡るという、王道？のルートにした。

休みが明け、気付いたらあと1か月だった。冬休み前は全然実感がなかつたのに、冬休みが明けると「あれ、もうすぐじゃね？」という感じで、一気にみんなの気持ちも高ぶってきた。そうすると、残る委員の主な仕事は、学年の雰囲気盛り上げとしおり作りである。しおりは笹部君作のかつこいい表紙と長田君の頑張りのおかげで、クオリティの高いものができた。本当にこの二人には感謝しています。

残すは2週間、となつたところでしおりの印刷・製本が完成。ここまで間近になると、昼休みの会合でやることは、旅行中の委員の動きの確認くらいになり、気分は沖縄モード。授業中も、時計を見ては「あと何日寝たら沖縄・・・！」ということばかり考えていた。

こうして迎えた沖縄旅行。中身のことにしてもたくさん書きたいが、他の委員にバトンを渡す。でも一つだけ言いたいのは、旅行委員をやって本当に良かったということ。誰一人嫌な顔しないで、積極的に意見を出し合い、楽しく当日を迎えることができたのは、本当に旅行委員みんなのおかげである。目立った仕事は何もしてない、頼りない副委員長だったけれど、最後の学年行事で最高の思い出を作ることができて、本当に感謝しています、ありがとう！！（67期M君）

同期会活動

《これからどうする、同期会！》 四期同期会報告

梅津尚志（4期）

今年は4期生にとって傘寿の年。昨年10月27日、ホテル横浜ガーデンに31名が集まった。定刻2時に開会。冒頭、逝去されたブルカ先生はじめ赤倉君、楠君、武内君を偲んで黙祷を捧げた。

《プログラム その1 総会》の部では同窓会および同期会について四期事務方の鈴木宙明君から報告と提言があった。同窓会の4期委員が狩野・合田・杉浦・宙明の4名に変わったこと、同窓会長が30期の山田氏に交代したことなどの報告があり、70周年記念事業の新校舎の見学が勧められた。事務局の課題としては、同期生への連絡方法について、メールへの反応が鈍っておりFAXの通信効率も低下しているので、時代に適合した情報伝達の手段を考えたいこと。

次いで、同期会の来し方行く末について話すよう指名された狩野君からは、2001年以来毎年開いてきた同期会を今後「①《開催頻度》：傘寿の年齢に達したからこそ今後も毎年開催するのが望ましい。②《会場》：固定することにより高齢者には間違いが少なくなるであろう。③《時期》：寒くなる晩秋よりも初秋の方がよかろう。④《幹事》：同期会について要望や提案のある者が幹事になればいいのではないか。」との提案があり、反対意見は出ず、今後はこれをベースに具体化が計られることになろう。

これからの4期の同期としての運営については、梅津が「今日まで纏まりが維持され、滞りなく行われてきたのは偏に宙明事務局のお陰なので感謝をしたい、また今後も宙明さんの世話になりたいと皆も内心思っているのではないか。今後とも四期委員からの提案や協力要請には自薦他薦で積極的に応じ、せめて事務局からの諸連絡にはマメに応えることにしよう。」と述べ、大きな拍手が起った。

《プログラム その2 パーティー》は仙台から参加の渡辺誠樹君の乾杯に始まり、酒肴と会話で心満たされる時を楽しみ、指名された5名のスピーチを拝聴した。草野君「剣道に今も励んでおり、現役の学生（主に女子学生）とも手合わせをしています。森高志君「子供の頃は母にピアノレッスンに行かされるのに反発していたが、今では感謝しており、今度リサイタルを開きたい」。岡君「30年間の設計事務所の経営も終り、ストレスから解放された。今でも横浜教区の建築関係に関わっており、ボケ防止になっています」。本谷君「10年間鎌倉でイタリアレストランを経営した後、料理とワイ

ンを楽しむツアーを企画し、イタリア全土を回った。半年前に伊豆の高齢者用マンションに転居」。ドクター志村「健康維持のためにはこの歳になっても筋力の維持が大切だが、長い目で見ればジムに通ってトレーニングするよりも、歩くことで筋力を保つ方が長続きする」。

3時間の会は、浅羽君による傘寿記念集合写真の撮影後、予定されていた校歌を歌うのも忘れて賑やかな中で散会となった。余韻の残る同期会であったためか、二次会には呑み足りない11名が参加し、恒例の《ケーブルカー》へ。談論風発、痛飲した模様。

《これからどうなる、同窓会？》

鈴木宙明（四期事務局）

全員傘寿の4期生は2017年も同期会を開けました。毎年のプログラムはほぼワンパターンとはいえ、節目の年では特別企画も加味してきました。例えば、養老孟司君の講演『栄光のカベ』を入れたり、長浦湾クルーズで田浦の母校跡を望んだり、夫人同伴可にしたり、四期ホームページ連載の60余名の『リレー随想』を冊子にしたり、想い出写真集DVDを配布したりして、愉しみました。4期同期会（現在109人）には年会費も会長も会則もありませんが、会計としては任意拠金のFUNDを擁して、メンバーの慶弔や同期会企画に対応してきています。栄光の教壇では、碓井先生や梅津先生が4期生です。

同期の間でよく出る話題に「同窓会のこと」があります。私たちが学んだのは田浦の校舎、卒業したのは60年余り前でした。しかし80歳の声を聞く1～5期生あたりでも、まだ半数以上がご存命です。その意味で、栄光学園同窓会は、《同窓会》としてはまだまだ《発展途上段階》といえます。

そもそも《同窓会》とは、同窓を懐かみ愛おしむ余裕が大幅にひろがるシニア・メンバーに、関心や関与や参画が偏り気味の存在といえそうです。一方《若い期》がこの数年まったく同期会を開いていないことや、名簿やEACONに住所や勤務先情報が載っていない栄光卒業生がとても多いことに気づきます。「それどころじゃない」のか「そんな時代じゃない」のか「同期/同窓の意味が違っちゃった」のか「やりたがる奴がいない」のか「《栄光らしさ》のせい」なのかは判りませんが・・・。同窓会の執行陣も「活性化」を叫んで模索を続けているようですが、栄光学園同窓会は《1期生以降の全期が協働できる土壌がまだまだある》ということを自覚して、同窓会の「ありかた」や「やりかた」を見つめていきたいものです。



4期同期会（2017年10月27日）

5期同期会最終回 平成30(2018)年 報告

天野 正（5期）

平成30(2018)年の同期会を「最終回として4月21日(土) 14:00～」と案内をしたところ、45名が出席した盛大な同期会になりました。会場は10年間続けて服部和男くんのお世話による横浜銀行「横浜シテイクラブ」。

5期同期会は当日現在の会員67名。昭和32年3月卒業生112名に卒業までに他校へ転校したなどの仲間の有志6名が加わって118名が母体になっていますが、この日までの逝去者44名、住所不明や連絡不要という者7名を欠いています。

開催日1週間前の出欠予定者は47名でしたが、3名がドクターストップで出席取りやめ、逆に精密検査の結果問題なしということで欠席予定を変更して出席した1名が加わって45名の同期会、出席率67%でした。紅一点は渡辺慎二くんの“お目付け役”のご息女。

和泉沢政人くんの開会挨拶に続いて、会長からの報告(天野)、乾杯(仙台からの出席の綱島不二雄くん)で懇親会になったのですが、今回は最終回ということであり、ここに至る経過の報告などが次のように天野会長から報告されました。

- ◆ 昨年の同期会での“つぶやき”に対して、全体として“理解をもらった”と考えて
- ① 同期会としての「5期会」は本日をもって役目を終えたので解散する。
- ② 同期会誌‘THE 5期’は29・30号(2月配布)と本日

の補遺をもって終了する。

- ③ 懇親会も本日最終会とする。
- ④ 5期会の会費の残額は、本日の参加費の割引徴収と懇親会最終回の報告に充てさせてもらい、さらに残れば幹事団の“ご苦労会”に使わせてもらう。(了承)
- ◆ 服部君へ気持ちだけのお礼の品を贈呈
- ◆ 5期会解散後の級友との関係は、各自の自主的な動きに任せる
- ◆ 同窓会との関係は、何か連絡が必要な場合は期委員の中村くんを通しての連絡は可能。天野もしばらくはその役目を負っても良いと思っていることを伝達。

懇親会は、今回が最終回ということで懇談歓談に時間のすべてを充てることにしましたが、一つだけ特別の企画を盛り込みました。それは、1957年3月の卒業記念写真に写る顔顔顔のどれが誰なのかを同定しようという試みでした。元写真の提供者は河内十郎くん。何としても全員の名を写真に記入して、それを配りたい、というのです。ハガキ大の元写真をA3判に拡大コピーして皆に見てもらい、どれが誰だか判明したらコピーされた写真に名前を記入してもらいました。結果は、自分だけは60年以上前の写真を見て判るけれど、その他の人はよくは判らないとか言いながらも、110名以上写っている写真の全員の名が判明しました。卒業後最も早く他界したのは石橋勝宏君(1974年7月)ですが、45年前の顔を覚えているというのは“さすが5期”と言えるのではないかと思います。

(5期生の最初の逝去者は小栗英一君ですが、卒業式一か月ほど前に急逝されました)

終了時刻が近づいたところで数人のスピーチをもらいました。初代5期会会長の青木盛久くん、二代目会長の高井貞



2018年4月21日 栄光5期同窓会 於横浜銀行横浜シティクラブ

5期同窓会（2018年4月21日）



栄光学園高等学校 第5期生卒業写真 1957年3月

夫くんは体調万全でなく欠席でしたがケイタイで呼び出して返ってきた声をマイクで流すという超絶技巧での声が会場に流されました。二人しか出席できなかったお医者さん、千葉康洋さんと里見佳昭くんは「自分が患者になっちゃった…」と言いながらスピーチ辞退。久しぶりに参加したNPOノアの伊藤輝男くんは「代表は後任に譲ったが、これからも変わら

ない支援をおねがいします」と挨拶。

最後は田中勝くんと三崎勝くん、二人の“勝くん”による“連指揮”で「千里の波濤」「Where Hillocks Shine」「Pirates' Song」「Eiko High Forever」を合唱、続いて今井佑一くん先唱のエール「プレープレー5期!」、閉会挨拶：和泉沢政人くんの後、記念撮影をして、5期会懇親会の最



11期同期会（2017年11月19日）

終回を締めました。

「別の機会に会おうナ！」と言いながら会場を後にする級友に「元気でナ！」の声をかけての最終回を終えて、幹事一同ホッとしつつ、少し寂しい気持ちを味わったのでした。

栄光学園11期同窓会の開催報告

花川泰雄（11期）

栄光学園11期の同窓会が、5年振りに2017年11月19日13時より、横浜駅西口ホテルプラムにて開催されました。

奥山幹事の映像資料を背景に往時の学園生活を偲びながら、53名の同期生が旧交を温めました。

仕事や介護、体調不良などで前回よりは出席者も10名ほど縮小しましたが、和気あいあいのひと時を楽しみました。

この集りの後、3ヶ月ごとに11日の昼から集まろうという話が持ち上がり、2月11日12時より、「なかー」の会が発足しました。

（幹事は太田元夫、山口隆雄、山口力也）

2018年度12期ゴルフの集い

花井勝三（12期）

5月24日&25日、12期恒例の一泊ゴルフを伊豆大仁CCで開催しました(参加18名、5組)。24日朝、熱海駅前に集合しました。前の日に関西から新幹線でやってきて参加する人もいます。クラブバスに乗ったとたん昔の関係が一気に蘇り、楽しい一日が始まりました。朝方まで雨、霧がひどかったのにスタートする頃には青空が広がりました。スタート前に富士山をバックに記念撮影。プレイのことはさておきま



2018年度12期ゴルフの集い（2018年5月24日&25日）

す。夕方、熱海のホテルで表彰式を兼ねて懇親会を催しました。関西からやってきた浅葉君が優勝したのは因らずも最良の結果でした。懇親会を終わると、いつものことで、そのまま帰る人、一泊して翌朝帰る人、翌朝もゴルフ場に行く人に分かれます。

来年も同じ要領で開催します。日取りは5月16日(木)&17日(金)で、ゴルフ場は予約済みです。同期ゴルファーは奮ってご参加ください。

27期恒例ソフトボール大会

佐藤 耕太郎 (27期)

あと2、3年で還暦を迎えようかという我々27期ですが、毎年初夏に30人近くが母校に集まってソフトボールに興じています。

このイベント、卒業後は少数の有志で行っていたものが、中年に差しかかる頃、忽然と再燃！もう20年近くも続いている催しです。

ある年はインドやベトナム、アメリカから帰省に合わせて参加する者、地方から参加する者、今では我が期の1大イベントとして定着しています。

今年は5月27日(日)の午後、学園のフィールドの借用願いを提出し、集まりし者25名ほど。初夏の暑さの中、アラカンの体に鞭打ち3試合を挙行了しました。

30代の頃はスライディングキャッチ、フェンス越えのホームランなども見受けられたプレー内容だったのですが、年を

追うごとに老いは隠せず、思いと身体の動きはどんどん離れていきます。グラブが届かない！足がもつれる！目測と足の運びが違う！果てはフライをバンザイしてホームランにしてみたり、外野がトンネルしてホームランかと思えばランナーの脚がついていかず自滅に終わったり・・・。そんなこんなプレーの連続でも楽しい3試合、4時間近くの27期の日曜午後なのです。

例年、試合の組み合わせは「中1時代のクラス」、「理系対文系」、「野球部出身者対非野球部」が定例の3試合です。殊に野球部対非野球部はプレーの理論解説などのオマケまでついて盛り上がります。

そして後片付けを済ませて、大船の居酒屋で打ち上げという名のプチ同窓会。ここにもみ参加する者もいます。プレーや近況を肴に語り合う素敵なひとときとなります。

こういうイベントを継続できているのも、母校関係者の皆さまのご協力があるの事です。深く御礼申し上げます。還暦を迎えても継続する気持ちでおりますので、どうぞご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

なんでこういうイベントが続いているかって？それは「栄光学園が好きだから」としか答えようのない我々27期です。

卒業30周年記念、34期生同期会のご報告

土屋誠之 (34期)

34期卒業30周年同窓会を2016年9月17日(土)午後3時より東京のアークヒルズクラブにて開催しました。

34期生は、硬庭部、バレー部、物理部など、いくつかの部ごとに新年集まって旧交を温めるなどの活動は見られたものの、全体で集まろう！との動きにはなかなかありませんでした。偶然にも今年の年始に校庭部の同窓会に呼ばれた西村(寿)君がその場の流れで幹事長に選出され、西村君の声かけにより当初の幹事には石原君、本多君と私がつとめることとなりました。今年は卒業30周年、この機会にぜひやりたい、



恒例27期ソフトボール大会 (2018年5月27日)

今年でなければいつできるんだとの機運が高まり、幹事の
結末は固いものとなりました。

まずは連絡先が分からない人を把握するため、同窓会事
務局のご協力や各部活のつながり、さらには職場のつなが
りや個人的なつながりを頼って連絡先を調べてゆきました。
その結果、139名の連絡先が判明し、開催案内を送付する
ことができました。

49歳前後、多忙を極める世代ゆえに惜しくも参加できな
い方、またドタキャン、ドタサンがあったものの、最終的に参
加者は先生6名、同窓生81名の合計87名と多くの方にご参
加頂きました。

同窓会当日は、開会とともに、中澤(健)君と本多君との
連弾によるEiko High Foreverの演奏。それに続く飯野先
生によるご挨拶は、先生ご自身が撮影されたありし日の旧
校舎、旧校舎お別れのシーン、新校舎建設中の写真を交
えた印象深いものでした。その後、西村(寿)君による乾杯
挨拶。彼の挨拶は、日程調整ができなかった人だけでなく、
この会に来ることを切望しなから事情により来られなかつた
など、様々な理由で参加できなかった彼らの分まで楽しん
でほしいとの思いを込めた印象深いものでした。

その後、田村(山崎)先生より現在進行中の新校舎建て
替え報告、また校舎設計・工事に関与している岩村君から
設計コンセプトの紹介がありました。

校舎建て替えに関連し、今回は受付に「校舎建て替え」
のための募金箱を設置したところ、多くの寄付金が集まり、
これは当日田村先生に目録をお渡しするとともに、金額が
確定し次第栄光学園に寄贈することとしていますので、あわ
せてご報告いたします。

大島先生からは、34期生の思い出と、同窓会で住所が把
握できていない人への登録の呼びかけが、伊藤(直)先生
からは山のキャンプの際の配布物などを交えた懐かしいお
話がありました。

その後、鳴瀬君・原田(雅)君よりレデスマ先生の思い出、
古川君関与?の「かいじん34面相事件」、水島君による映
画の話、今も保管している高橋(紹)君の6年分の生徒手帳
の写真などが披露され、英語のコメントをした石川先生に対
し、西川君が英語の大学教員の立場から突っ込むなどの一
幕があり、盛り上がりました。

最後は、中澤君のピアノ伴奏で校歌斉唱、会場が一体感
に包まれた後、現副校長の林先生のご挨拶で幕となりました。

当日は司会が本多君、村松君、映写が瀬尾君、写真撮
影が野間君、丸山君、受付・会計が高橋(英)君、豊住君、
その他にも多くのご協力を頂き、これらの方々は皆さんと歓
談したいのを抑えて任務を全うしていただいたことを心に留
めていただければ幸いです。

今回は5年後に、再度同窓会をしたい、との提案がなされ、
了承されました。次回開催には、今回の名簿整備の基盤
があるとはいえ、より一層の困難が予想されますが、実現に
向けて、今回ご出席の諸氏ならず、みなさまのご協力をいた
だければと思っております。

今回ご出席の先生方、同窓生のみなさま、ありがとうござ
いました。

再会した皆さまの交流が続きますよう、祈っております。そ
れではまたお会いできるときまで。

(広報部注:本同期会は2016年9月の開催でしたが、執筆
者都合により報告記事が2018年4月に同窓会事務局に届
きました)

支部活動等

岡山栄光会だより

岡本卓郎 (20期)

岡山栄光会が発足して、早6年になろうとしています。そ
の間、11回の定期会合を重ねてきました。現在の会員は6
名で、内4名は倉敷市定住者で、2名は仕事の関係で岡山・
倉敷にご縁のある方です。これまで、延べ9人の方が会員と
なられ、3人の方は転勤・退職で、東京・神奈川に帰られま
した。(皆さん、お元気ですか?)

夏と冬に各一回、年2回の会合(懇親会)ですが、現在の
会員は、大学教授・元商社マン・外科医・企業経営者・経営
コンサルタント等職業も多岐にわたり、親子ほどに離れた
方々もあり、話題は、政治・経済・医療福祉・スポーツ・芸能
そして母校の話とお酒の量と共にフラフラと部屋の中を飛び
回っています。

こんなに楽しい時を過ごせるのは、栄光学園という同じ学
び舎での体験をもつものならではであり、湘南から遠く離れた
この岡山での奇跡に感謝しています。

今年の冬の例会は、2月に熱燗と「鴨鍋」を囲んで、5人の
会員が集まりました。次回は、夏のビールのおいしい頃に開
催する予定です。

岡山・倉敷・福山の方がいらっしゃいましたら、ぜひご参
加ください。金融機関やJFE等の企業の駐在の方、ご連絡
をお待ちしています。

連絡先; t-okamoto@marugo-rubber.co.jp

藤沢栄光会開かれる

大島弘尚（14期）

第9回藤沢栄光会が3月10日、藤沢駅前「さいか屋」8階の中華料理店「煌蘭」で開かれました。望月校長、山田同窓会長、逗葉・鎌倉・茅ヶ崎各栄光会からの来賓と藤沢市在住の4期から44期までの28名参加の盛会となりました。

第1部総会では、牧野会長(9期)の開会挨拶に続き、役員紹介、会計報告が行われました。第2部の講演会冒頭に望月校長により「栄光学園の近況」が語られました。当日は国立大学前期合格発表最終日でしたので、現役生(66期)の合格報告の情報にも触れることもできました。引き続き、8期宇多文雄上智大学名誉教授による、「ご存知ですか、ロシア料理」と、懇親会の食欲を誘う講演会となりました。

「ロシア料理とは何か」、「ペチカと壺焼き」では北原白秋のペチカの唄の虚構のご指摘は大変面白いお話でした。「ロシア料理の最大の特徴はなんと『つまみ』なのだ」では、温かい料理の前に出される山海の珍味冷菜『ザクスカ』のお話には食欲はますますそそられました。ロシアでは絶滅してしまったキャビアのチョウザメの話では、東日本大震災の津波で壊滅した釜石のチョウザメ養殖の話は印象に残りました。最後に「ロシア料理を作ってみよう」と「ニシンのマリネ」のレシピまでご紹介いただきました。

第3部懇親会に進み、乾杯の後料理が次々と運ばれ自由懇談となりました。その間隣支部からの出席者、初参加の会員の方々からのご挨拶もいただきました。

最後に全員の集合写真を撮り、新旧校歌を斉唱し、あっという間に2時間半はたち、お開きとなりました。

茅ヶ崎栄光同窓会総会報告

金子 和（27期）

茅ヶ崎栄光同窓会は5月20日に第11回総会、および懇親会を開催しました。本会は、新年会と総会を「茅ヶ崎 美味しいおみせめぐり」の企画にのせ、回ごとに市内の美味しいお店に集まり、茅ヶ崎の食を楽しんでおります。今回は、江戸時代にシビと呼ばれたマグロ料理の「徳多屋」で開催しました。店主さん曰く、運よく当日朝に仕入れた三崎大マグロ。人の顔の何倍もある大カマの解体ショーを見物しながら、切り出されたいろいろな部位の味を堪能しました。満10年をむかえる総会の議題の目玉は会長の交代でした。発足以来会長を務められた山口洋一郎(13期)氏が退任され、伊藤紀一郎(22期)氏に引き継がれました。

伊藤紀一郎（22期）

茅ヶ崎栄光同窓会は、発足10年を迎えました。この節目の本年5月20日の総会にて、会長を13期山口洋一郎前会長から引き継ぐことになりました22期の伊藤紀一郎です。茅ヶ崎栄光同窓会では、総会、新年会の他、地引網や茅ヶ崎のうまいものを食べる会等を企画し、会の親睦を図りながら発展を目指しています。茅ヶ崎栄光会に入会資格のある人は相当数いるはずですが、これまで確定メンバー数は一桁でした。10年を迎えるに当たり、山口前会長の号令の下、増員対策を検討し何とか二桁集まるようになりました。新会長としては、この流れを切らさないように、また人が集まり定着するような仕組み等も考えていきたいと思っています。近



藤沢栄光会（2018年3月10日）

隣の栄光会の皆様、アドバイス宜しくお願
い致します。

山口洋一郎（13期）

茅ヶ崎栄光会はお蔭様で創立10年を迎
えることができました。その間、色々なこと
がありましたが、地域の同窓生が老若を問わ
ずフラットに交流できたことは、大いに成果
があったことと思います。

10周年を機に会長職は、ほぼ10年若
がえって22期の伊藤紀一郎氏にお引き受け
いただくことになりました。さらなる茅ヶ崎
栄光会の発展を期待いたします。



茅ヶ崎栄光会（2018年5月20日）

後列 左より 松岡豊人(22期) 島崎裕之(26期) 池田幸生(24期) 酒井伸雄(2期)
吉澤直樹(32期) 多田裕(24期)、 前列 左より 金子和(27期) 山本明德(7期)
佐々木 克己(21期) 山口洋一郎(13期) 伊藤紀一郎(22期) 杉浦有一(23期)

物理部OB会総会報告

会長 古谷哲夫（21期）

物理部OB会の総会を、2018年6月9日に、学園のアロイ
ジオ会館大ホールにて開催いたしました。

今回は、6期から66期までの総勢39名の方々にご参加者
いただきました。6期から卒業したての66期という60年の学
年差は過去最高であり、物理部の伝統を改めて感じさせら
れました。参加者中9名が「総会議長」（幹事役）経験者であ
り、過去に総会開催に携わった方の総会に対する思い入れ
を感じさせられました。1期台から60期台までの10期台毎に
最低1名の参加者があり、
特に50期台の参加者が目
立ちました。1～10期台の
4名も例年より多めでした。

今回は、14時開会とし
て、会費を安くする代わり
に飲食品はお茶菓子程度
として、アルコール類は夕
食時となる二次会以降の
お楽しみとさせていただきます。

乾杯、歓談の後、自己
紹介を行いました。特に1
期台、10期台の方には、
技術分野、学術分野で活
躍されたお話、趣味のお
話をいただきました。大勢
を占めた「職業人」には、
技術者等の「理系」のみな

らず、弁護士等の「文系」の方も目立ちました。この点も物理
部ならではの。

自己紹介の後、総会の議題として、下記の役員選任の他
に、総会開催の時期についての意見を募りました。過去に
開催の多かった3月については賛否両論があり、秋頃が良
い、色々な時期に開催を試みるのが良い、といった意見が
ありました。

閉会后、学園の入口階段で写真撮影を行いました。

今回は、学生会員の参加はそれほど多くありませんで
したが、ある学生会員から「戦後の科学技術史を追体験し、か



2018年度物理部OB会総会（2018年6月9日）

つ先端研究の第一線に触れられて感動しました。」という有り難い感想をいただきました。物理部OB会を将来にわたって継続させると共に、近年の物理部の状況を先輩方に紹介するために、今回はより多数の学生会員のご参加をお願いします。

なお、手違いにより物理部OB以外の何人かの方に誤って案内状が発送され、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

議案(役員選任)

- ・会長：古谷哲夫(21期)
- ・副会長：斎藤逸郎(39期)
- ・次回総会議長：会長が兼任

会計報告：

収入：	会費(1,000円×39名)	39,000円
	寄付	7,089円
	計	46,089円
支出：	通信費(ハガキ代)	30,938円
	振込手数料	216円
	飲食品代	13,855円
	配送料	1,080円
	計	46,089円

[連絡]

「同窓会員から同窓会事務局に、同期会やOB会開催などのための照会があった場合でも、情報を開示しないことを希望する項目」として、「現住所」を同窓会事務局に届け出

られた方へ

物理部OB会総会開催の案内状は、同窓会本部の名簿データベースを利用して宛名を出力して発送していますので、この方法によるご案内ができません。こうした方で物理部OB会総会開催の通知を希望される方は、お手数ですが、物理部OB会の役員(会長、副会長、総会議長)にその旨ご連絡ください。

北海道栄光会第三回総会開催

茂森 実 (27期)

2017年に国内地方支部第一号として再出発した北海道栄光会の第三回総会が、2018年6月16日(土)、札幌東急REIホテルにて開催された。

総会に合わせて何かしら魅力的な行事をセットできないかと幹事の間で協議した結果(歩く会という案もあったが…)、今年度は二部構成とし、第一部は「博物館ツアー」として、北大名誉教授在田一則様(一般社団法人北海道自然保護協会会長)に北大総合博物館をご案内いただき、第二部はススキノのホテルで「総会・懇親会」を行うこととなった。

当日の出席者は、第一部12名、第二部22名で、うち8名が現役学生。来賓として、道内(北大)出身の上智学院監事萱場基神父、山田宏幸同窓会会長(30期)に遠路はるばるご出席いただき、また、4月から北見藤女子高に赴任された飯野習一先生(19期)にも駆けつけていただいた。

第一部は、16:00から約1時間。まずは2004年の台風で



北海道栄光会第三回総会 (2018年6月16日)

倒れたポプラの木から作られたチェンバロを間近に見せていただき、その後、在田様の丁寧な案内で博物館内を見学した。北大総合博物館は、1929年に建てられた旧理学部本館を利用しているだけあって建物に趣があり、また、札幌農学校として開校以来の300万点以上の標本や資料が蓄積され、大学博物館として屈指の規模とのこと。札幌駅に近く入場料が無料のため、観光客にも人気のスポットとなっている。

第二部は、17:30から約2時間半。山田同窓会会長の挨拶のあと、2017年度収支報告を承認して総会の議事は短時間で終了。

なお、役員は2年任期で今回は非改選期のため昨年と同じメンバー。会長 安藤厚(13期)、副会長 立石浩史(20期)、事務局長 茂森実(27期)、幹事 蟹江俊仁(24期)、柿澤宏昭(26期)、石井伸明(29期)、橋本崇弘(62期)、河田祥太郎(63期)、会計監事 島崎裕之(26期)。

他の出席会員は、北尾研二(17期)、飯野習一(19期)、西川眞(24期)、小野理(35期)、早稲田宏一(41期)、小林礼和・堀越秀・渡辺宗作(60期)、都築洋一(62期)、武田慎太郎(64期)、佐藤祐也(65期)。以上敬称略。

総会終了後の懇親会は、安藤会長の挨拶に始まり、萱場神父より乾杯の発声。以降、1人ずつの自己紹介・近況報告を挟みながら話は尽きず、予定オーバーの2時間半の宴はあっという間に過ぎる。『緑なす相模野』『Eiko High Forever』『千里の波濤』を斉唱、立石副会長の中締め、全員での記念撮影でお開きとなった。

このあと、会場のホテルがススキノのど真ん中ということも

あって、二次会～三次会(カラオケ)まで大学生と初老2名(立石副会長&島崎会計幹事)が参加。お開きの3時には、夏至の空は白んでいた…

以上のとおり、幅広い年代が参加した、エネルギーな懇親会であったが、これはまだ再スタート2年目。他の同総会支部に比べて若手が多数参加する北海道栄光会の特徴を活かしながら、初めて北海道の地に赴任・進学する同窓生の不安払拭のためにも、今後も意欲的な活動を続けていきたい。

(北海道へ赴任・進学された方、まずは事務局までご一報下さい shigemori@aroma.ocn.ne.jp)

茅ヶ崎海岸地引網とBBQの会報告

金子 和 (27期)

7月22日(日)に茅ヶ崎海岸地引網とBBQの会が、27期の有志企画として、および地元茅ヶ崎栄光同窓会の発足10年の記念事業として、さらにお隣の藤沢栄光同窓会からのご参加をいただいて、盛大に開催されました。

27期は節目の年の同窓会から発展して、毎年ソフトボール大会で集まるようになり、そこから派生した横浜スタジアムプロ野球観戦会にでかけるようになり、この数年ではさらに機会が増えて、同窓会ゴルフ大会への選手団派遣、両国国技館大相撲見物、28期-27期対抗スポーツ大会、恩師シルゴ神父訪問会を加え、定年を迎えて仲間と豊かな人生を



茅ヶ崎海岸地引網 & BBQ (2018年7月22日)

楽しむ準備を着々と整えております。スポーツ系の企画が多い中、スポーツ以外で、個人でも家族でも参加でき、これから増えるであろうお孫さんとも楽しめて、27期だけでなく幅広い学年と交流でき、老若男女で力を合わせて自然の中で網を引く地引網会を企画しました。

茅ヶ崎栄光同窓会は今年で満10年を迎えました。茅ヶ崎らしく、地引網会を10年記念事業としました。当日は茅ヶ崎初代町長の伊藤里之助氏に繋がる同窓生、茅ヶ崎南湖院を開いた高田畊安先生先生に繋がる同窓生、茅ヶ崎で執筆活動された城山三郎氏に繋がる同窓生が参加されましたので、歴史文化的にも十分に茅ヶ崎らしさを感じられる会となりました。藤沢栄光同窓会からのご参加をいただき、近隣同窓会との交流と協力の拡大を予感する盛大な事業となりました。

さて、当日は台風の影響で波が高く、地引網は残念ながら海に入りませんでした。加えて、気象情報によれば、岐阜県で39.8℃を記録する酷暑。藤沢から自転車でご参加の小藤晃(10期)氏が生ビールサーバーを担当され、酷暑をアテに皆さんの喉を冷たく潤してくださいました。中村洋一郎(27期)氏が焼き鳥用に改造した炭焼き台を持参され、ネギマを焼いて皆さんに差し入れてくださいました。ビールとネギマは最高の取り合わせです。当直明けの勤務先から直接に駆けつけてこられた高田氏はお土産に美味しいかまぼこを差し入れてくださいました。BBQは27期が担当して焼き、ゴミの持ち帰りは茅ヶ崎栄光同窓会がご担当くださいました。片付けのあとに27期の数人とビーチクリーンをしました。ゴミはひとつもなかったです。すばらしい会でした。

歴史文学散歩

「桜花」満開時、「東戸塚」探訪

実施日：2018年3月30日(金)

藤野幸弥 (21期)

3月30日、晴天、12名の参加者がJR「東戸塚」駅に集合、その東部地域の史跡を歩く。嚮導は6期生、三春さんが実施、彼が皆を、各要所に誘導し、解説する。そして、皆が会得した知識を基に、寺院等、旧東海道施設を、見学する形で推移。桜等の満開時で、道中も、寺院の中でも、様々な花の話、歴史話の蘊蓄等が弾む。色彩も、音声も、なかなかにぎやか…で、楽しい。

今回の踏破地域を、俯瞰すると、以下のとおり。JRの線路、「環状2号」等の幹線道路2本、旧「東海道」が並行して、ほぼ南北に走っている。又、駅(線路)の東西に、各々丘陵が在り、丘の表面は、近代的な商業地、住宅地となっている。とりわけ、東側地域の丘、中腹には、30階建ての高層アパート7棟、及び「オウロラ・シティ」なる未来風の商業施設も見られる。東西二つの丘の中腹と駅は、巨大なpedestrian-deck(歩道橋)で結ばれている。住民は、線路の在る谷底まで降りずに、空中を移動して、電車を利用できる。東の丘上の「福寿観音」傍らの顕彰碑の内容に依れば、福原政二郎が東戸塚の駅、街並みの設計、建設に貢献、25億円の私財も提供した、とのこと。彼の郷土愛の大きさには驚く。

この近代的な駅と街並みから周囲に1kmも離れると田園地帯が広がる。乳牛を飼育する牧場、農家風住宅、梨、葡萄、桃、柿の果樹園

(「果実の里」)が見られる。梨の白い花が印象的。

駅から出発し、すぐの場所、「白旗神社」。源義経を祀る。先述した牧場のそばに、「北天院」。新見(しんみ)家の菩提寺であり、美しいお庭と鳥と菖蒲の襖絵が印象に残った。新見(しんみ)家は東戸塚信濃町地域の領主であり、旗本として江戸幕府を支え、有能な人材を輩出している。とりわけ、新見正興は、幕末「ペリー



境木地蔵前での集合写真(2018年3月30日)

来航時」、外国奉行、神奈川奉行を兼務した。現代では、外務大臣、兼務、神奈川特別市の市長相当職であり、更に、彼は1860年、「遣米国使節団」主席代表を務め、渡米し、条約の批准をした。(主席代表のもう一人は、小栗忠順)。「遣米国使節団」は米国船ポーハットン号に座乗、随行した軍艦が、咸臨丸である。勝海舟が艦長、福沢諭吉、ジョン万次郎らが乗り組んでいた。我々現代日本人としては、「咸臨丸航海」として、馴染みが深く、諭吉の「福翁自伝」及び海舟の「氷川清話」に、興味深い話が多い。

旧「江戸期東海道」の史跡。「保土ヶ谷宿」から「戸塚宿」間の一部を歩く。ここで、意外な話。東海道、保土ヶ谷宿から「藤沢宿」間の街道は、徳川家康が、旧来の道に代えて、1600年、関ヶ原の戦勝後、建設した。「戸塚宿」もその関連で、誕生した。旧道は、戸塚、原宿を通らず、(栄光学園の在る)大船、玉縄を通る、川沿いの平坦な歩き易い道であったが、大雨、川の増水、通行止めとなることが多々あった。家康は、国家プロジェクトとして、膨大な資金、労力をつぎ込み、尾根を掘削し、尾根道の街道を新設した。大雨による交通遮断の心配は解消し、軍団の移動、旅人の通行は便利になったが、一方、道中に、体力を消耗した、人々、牛馬にとってはやや過酷な道となった。(因みに、正月の「箱根駅伝」のコースになっている。)

保土ヶ谷宿を出発、西へ向かうと、権太坂がある。この坂は、箱根に次ぐ難所と謂われ、行き倒れの旅人(行路不明人)、運搬能力を喪失した牛馬が多数発生した。「境木」の立場から西へ向かい、左方、街道南側の谷戸に、多数の穴が掘られ、これら、多数の遺体が埋葬された。(投げ込み穴)。

夜には、人魂(鬼火)が空中を舞った。死体の骨から発生した燐Pの化合物が燃焼したのであろう。

後年、「投げ込み穴」の大量の骨は、掘り出され、近くの「東福寺」に埋葬された。鬼火騒動も終焉した。「投込塚碑」が、我々に、経緯を語りかける。

暗闇に、鬼火が舞う、江戸期東海道の暗黒面(ダーク・サイト)の話から一転。陽光の下、桜の花弁が舞う道中、陽気な楽しい旅の話をしてしよう。我々が歩いた行程と重ね合わせてみる。こんな感じ。保

土ヶ谷宿を通過、難所の権太坂も何とか乗り切った。旅の仲間たちも元気だ。さあ、前方に境木の「立場」と「地蔵様」が見えた。いよいよ、武蔵の国から相模国へ入る。名物の焼き餅を食べよう。この境木立場を後にすると、信濃町地域の大きな「一里塚」が見える。9m四方の大きな塚で、目印として、我等旅人を励まし、安堵感を与える。塚の上には林が在り、木陰で涼を取ろう。往時、この様な雰囲気だったろう。この一里塚は、往時をとどめて残っている。歴史文学散歩は、信濃から赤関橋までの桜並木を見て終了、東戸塚駅に帰着する。

美しい「桜花」と恐ろしい「鬼火」が印象に残った。現代の道を歩き、江戸期の旅人気分を想像した「東戸塚」探訪の顛末は以上。この楽しい一日を過ごせたことについて、一緒に過ごした先輩方と故「金子先生」に、改めて謝意を示す。

歴史文学散歩「風薫る横浜山手の洋館巡り」 実施日：2018年5月25日(金)

古山 健 (20期)

10日前に停年退職したばかりで、初めてこの歴史文学散歩に参加しました。今回のテーマは表題の通り。JR石川町駅(南口)に10時集合。参加者は、総勢14名でした。

幹事の三春氏より、コースの建物写真付きのパンフが配られ出発。①山手イタリア山庭園ブラフ18番館、②同庭園外交官の家へ。この庭園は、JR石川町駅を見下す崖(ブラフ)の上に作られたもの。①・②は平成3年から整備公開されている庭園に移築されたとの事。③横浜山手・テニス発祥



ブラフ18番館の前にて集合写真(2018年5月25日)

記念館。趣旨(洋館)とは外れるが、テニスコートを脇目に記念館に足を運ぶ。1878年(明治11)に日本初のテニスクラブが設立された由。④山手洋式公園へ。横浜居住の外国人の間に山手方面に専用の遊園地を望む声があり、1870年(明治3)に開園したそうです。ここで丁度昼時になったので、空いたベンチを使い昼食・歓談しながらの休憩。

午後は、⑤本牧山妙香寺からスタート。裏道を抜けお墓の横を通ってお寺に到着。このお寺、過去には度重なる全山焼失の憂き目に逢うも復興。また当山は、「君が代発祥の地」、「日本吹奏楽発祥の地」でもあり、西洋文明発祥の歴史を紐解く絶好の地でもあったとの事。三春氏、大島氏等より、詳細な説明を受け、勉強になりました。

山手本通りに戻り、元町公園を目指して進めば⑥ベリック・ホール、⑦エリスマン邸、⑧山手234番館の3つの洋館が見学出来ます。⑥は現存する戦前の山手外国人住宅の中で最大規模の建物で、設計はアメリカ人建築家J.Hモーガン。2000年迄寄宿舎として使用され、その後横浜市が買取、復元し2002年(平成14)から公開しています。⑦の設計は日本の「現代建築の父」と言われるチェコ出身の建築家A.レーモンド。1982年に解体されましたが、1990年(平成2)に再現されました。⑧は1927年(昭和2)に外国人向けの共同住宅として建設。設計は建築家の浅香吉蔵。戦後米軍接收を経て、横浜市が歴史的景観保全の為取得し、1999年(平成11)から一般公開されています。

そこから⑨外人墓地の入口まで行きました。暫しメンバーで歓談。基本的に内部は非公開だが、3~12月の土日祝は公開しているとの事。

最終目的地である、港の見える丘公園に向います。公園内はバラや各種の花々で庭園が綺麗でした。⑩横浜市イギリス館は、1937年(昭和12)に英国総領事公邸として、現在の地に建てられました。1969年に横浜市が取得し、2002年(平成14)から一般公開しています。⑪山手111番館は1926年(大正15)に、前出J.H.モーガンが設計し建てられました。ローズガーデンを見下すスペイン風洋館は、彼の代表作の一つと言われています。

これで予定のコースは終了。みなとみらい線・元町中華街駅にて、15時頃、解散となりました。

最後に、初参加の私の感想を少しだけ。

I. 今回廻った洋館は全て入館料無料！30年間住む横浜市の凄さに感動し、誇りに思いました。サッカーW杯から引用。『横浜半端ないって。』

II. 「歴史文学散歩」に初めて参加してみて本当に楽しめました。『歴史が学べる。運動にもなる。諸先輩・後輩方とお喋り出来て、交流出来る。』

● 訃報(2018年4月1日以降判明分)

先生

ギユンタ・ケルクマン先生 (英語)	2018年5月15日
小崎次郎(ブレナン)先生 (理科)	2018年6月11日

卒業生

細野 真一 氏 (30期))	2014年10月30日
細谷 優 氏 (8期)	2018年1月10日
雨宮 明 氏 (3期)	2018年2月7日
向山 幸男 氏 (18期)	2018年3月2日
村山 新一 氏 (14期)	2018年3月17日
平田 大二 氏 (3期)	2018年3月27日
亀井 弘和 氏 (22期)	2018年5月11日
松橋 智孝 氏 (10期)	2018年5月15日
芝原 隆 氏 (26期)	2018年5月24日
大沢 淑人 氏 (6期)	2018年5月30日
辻 恭平 氏 (15期)	2018年6月15日
並木 彰一 氏 (8期)	2018年6月29日
岡野宗十郎 氏 (3期)	2018年7月1日
木村 純 氏 (21期)	2018年7月12日
古田 祐司 氏 (20期)	2018年7月30日
倉持 朗 氏 (23期)	2018年8月11日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

● 次号(第91号):2019年4月発行予定。

● 投稿歓迎

同期会や支部のイベント報告、個人の体験記などの投稿を歓迎します。標準サイズは文章1,200文字程度+写真1枚。同窓会事務局宛てメールまたは封書でお送りください。

メールアドレス: admin@eikoalumni.org

住所:(本号第1頁にあります)。

● ホームページ記事募集

6月1日からリニューアル公開された同窓会ホームページにも記事をお寄せください。各同窓会イベントの告知にもご利用いただけます。こんな企画で記事を書いてほしいというアイデアも募集します。

● 編集後記

今年の夏は大変暑く、同窓会執行部が打ち合わせを行うアロイジオ会館の会議室もまた暑い。会議も熱くあるべきだが、その前に汗がとまらない。そう、本号のアーカイブについての記事で、エアコンが効かずに除湿器で資料を守っているあの部屋のならばで、同様にエアコンが効かないらしい。

私らは風呂で汗を流してビールでも飲めば回復するので後回しでよいが、学園アーカイブ資料はカビ等のダメージがあれば二度と元には戻らない。至急の対応が必要である。ついでにで構わないので会議室のエアコンも直るといいな。